



# 次期京都市基本計画説明資料

## 政策分野 <歩くまち>

### 1 序

- 1-1 京都市基本構想における関連記述 1P
- 1-2 現行京都市基本計画に掲げた政策 2P
- 1-3 これまでの主な取組 3P

### 2 次期京都市基本計画策定に向けた論点 7P

- 2-1 論点1 現状と課題 8P
- 2-2 論点2 政策の基本方向 11P
- 2-3 論点3 市民と行政の役割分担と共汗 20P
- 2-4 論点4 10年後に目指すべき姿 22P

### 3 参考資料

- 3-1 現状分析関連データ 26P

・客観データ                      ・市民の声  
・関係団体意見等              ・各区基本計画策定に当たって出された課題

- 3-2 主な分野別計画の概要 56P
- 3-3 融合委員会ワークショップ結果 64P



# 1 序

## 1-1 京都市基本構想における関連記述

### ～だれもが安心してらせるまち～

わたしたちはさらに、経済活動を適正生産・適正消費・最少廃棄の循環経済のなかで営み、日々のくらしのなかで環境に負担をできる限りかけない生活を送ることにより、持続可能なまちをつくっていく。そして、自動車交通に過度に依存しない公共交通優先型の交通体系を、先進技術を利用して総合的に構築しつつ、歩くことが楽しくなるようなまちづくりに取り組む。



## 1－2 現行京都市基本計画に掲げた政策

### ～歩いて楽しいまちをつくる～

歩いて楽しい「歩くまち・京都」の実現をめざす。「歩くまち・京都」とは、歴史文化資産や自然環境と調和した歩く魅力があるまち、だれもが歩きたくなるような安全・快適な交通環境が整ったまち、生活目的が身近な地域で歩いて果たせるまち、また、来訪者にとっても歩くことによってその価値をより深く楽しむことができるまちである。このようなまちをつくるため、美しい町並み景観の形成など歩くまちの魅力を高める取組を進めるとともに、自動車流入の抑制や安全な自転車利用の促進等、のびのびと歩けるための条件を整備し、環境への負担の少ないまちづくりをめざす。

## 1-3 これまでの主な取組

- ① 京都市では、昭和56年の地下鉄烏丸線開業以降、平成20年の二条～太秦天神川間の延伸まで、順次、地下鉄を整備するとともに、ＪＲや民間鉄道も含めた結節機能の強化、市バス路線の改善など、公共交通の充実に取り組んできた。

この結果、市域の東西南北の基軸となる都市装置・地下鉄とＪＲや民間鉄道、そしてきめ細やかに張り巡らせた市バス・民営バス路線により、「歩くまち・京都」の基盤となる公共交通ネットワークを形成している。



地下鉄太秦天神川駅と直結した  
バスターミナルと嵐電天神川駅。  
地下に自転車等駐車場も整備



## ②安心安全な通行環境の確保のため、全国に先駆けた総合的な自転車対策の推進

### 駐輪場整備

御射山自転車等駐車場



西賀茂自転車駐車場



整備前



整備後



自転車等駐車場付置義務の強化(H21.10実施済)

民間自転車等駐車場整備助成金制度の創設(H21.4以降運用開始)

地域と連携した啓発や放置自転車撤去の実施

自転車通行環境整備の取組

無電柱化事業に伴う  
自転車歩行者道の再整備  
(北大路通)



ブロックの色で走行位置表示(御池通)





③ 「京都市基本計画」に掲げた「歩いて楽しいまち」「環境にやさしいまち」を実現するために、「『歩くまち・京都』交通まちづくりプラン」（TDM施策総合計画）を平成15年6月に策定したほか、TDM施策を実施。

平成13年 1月 「京都市基本計画」策定

- ・「歩いて楽しいまちをつくる」を基本的方向として、歩いて楽しい「歩くまち・京都」の実現を目指すことを掲げる。

平成13年・14年度 嵐山地区観光地交通対策社会実験

平成15年 6月 「『歩くまち・京都』交通まちづくりプラン」（京都市TDM施策総合計画）を策定

- ・「歩くまち・京都」を交通政策の基本的な理念とし、TDM施策等の推進を図ることを提示

平成15年・16年度 東山地区観光地交通対策社会実験

平成18年 5月 「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」の発足

- ・歴史的都心地区（四条通・河原町通・御池通・烏丸通に囲まれた地区）において、自動車中心から徒歩と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現を目指す。

平成19年 1月 今出川通におけるLRT交通社会実験を実施

平成19年10月 「歩いて楽しいまちなか戦略」社会実験を実施

平成20年 6月 「環境モデル都市」に応募

平成20年 7月 「『歩くまち・京都』総合交通戦略策定審議会」の発足

平成21年 1月 「環境モデル都市」に認定

平成21年12月 「『歩くまち・京都』総合交通戦略策定審議会」から戦略を答申

平成22年 1月 「歩くまち・京都」憲章の制定、「歩くまち・京都」総合交通戦略の策定

- ④ 「人が主役の魅力あるまちづくり」を推進するため、健康、環境、観光などの幅広い観点から、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現を目指し、日本で初めて、歩くことを中心としたまちと暮らしに転換するための行動規範となる「歩くまち・京都」憲章を制定するとともに、交通まちづくりのマスタープランとして「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定。

## 「歩くまち・京都」総合交通戦略策定審議会

設置目的：「人が主役の魅力あるまちづくり」を強力に推進するため、公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現を目指した「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定

審議会委員は、健康、環境、公共交通、子育て・教育、コミュニティ、景観、観光、経済などの観点から、幅広い分野の方々と構成

### 委員の構成

学識経験者  
経済界、有識者等

交通事業者  
国土交通省  
京都府  
京都市

：交通まちづくり、環境、福祉など  
：京都商工会議所、  
有識者（教育、文化、医療、情報、マスコミなど）  
：JR西日本、阪急電鉄、京阪電気鉄道、京都市交通局  
：近畿地方整備局建政部長、近畿運輸局企画観光部長  
：京都府総務部長、京都府警本部交通部長  
：副市長

### 【開催状況】

第1回 平成20年7月11日  
第2回 平成20年10月30日  
第3回 平成21年1月27日  
第4回 平成21年5月28日  
第5回 平成21年9月9日  
第6回 平成21年12月16日  
答申提出 平成21年12月24日

京都の持つ文化力・人間力を結集、融合することにより、「京都力」を最大限に生かした議論を展開

### 公共交通ネットワーク 検討部会

- 利用者の視点に立った公共交通のネットワーク化の検討など

### 未来の公共交通まちづくり 検討部会

- 環境に優しく利便性の高い未来の交通システムの検討など

### 公共交通優先のライフスタイル 検討部会

- 大胆なマイカー抑制を市民ぐるみで進めるためのライフスタイルのあり方の検討など

## 2 次期京都市基本計画策定に向けた論点

### 論点1 現状と課題

- ◇ 活かすべきチャンス（追い風）は？放置できない問題（向かい風）は？
- ◇ 活用できる資源（強み）は？克服すべきもの（弱み）は？

### 論点2 政策の基本方向

- ◇ 今後10年間の基本的考え，価値観は？

### 論点3 市民と行政の役割分担と共汗

- ◇ 政策の推進に当たって市民や行政が行うべきことは？

### 論点4 10年後に目指すべき姿

- ◇ 10年後のあるべき姿やそれが達成された状況を図る指標・目標値は？





## 2-1

### 論点1 現状と課題

- ◇ 活かすべきチャンス（追い風）は？放置できない問題（向かい風）は？
- ◇ 活用できる資源（強み）は？克服すべきもの（弱み）は？



## <現状分析>

### 外部環境分析（施策を推進するうえで、追い風又は向かい風となる変化や社会的な状況）

| 追い風                                                                                                     | 向かい風                                                                                                                                                                                    |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○鉄道・バスは環境にやさしい乗り物である。〈27P〉</p> <p>○健康への関心が高まっている。〈27P〉</p> <p>○世界の流れは、「人と公共交通優先型社会」へとなっている。〈28P〉</p> | <p>○クルマ依存の市民生活。（市民生活のマイカー依存の上昇）〈16P,19P〉</p> <p>○市バス・地下鉄の利用者数は、平成21年度は、高速道路料金の大幅割引や新型インフルエンザの流行などにより大きく減少。高速道路料金無料化も含め、今後の公共交通への影響が懸念される。〈29P〉</p> <p>○日本では、鉄道の運営費に対する公的支援が無い。〈30P〉</p> |



## 京都の現況分析（他都市と比較して、京都の現況が優位又は劣位である事項）

| 京都の強み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 京都が解決・克服すべき課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○京都議定書誕生の地であり、環境モデル都市に選定された。〈31P〉</p> <p>○年間5,000万人を超える観光客が入洛する。〈32P〉</p> <p>○14箇所の世界遺産など、1200年の歴史に育まれた世界に誇る伝統と文化を有する。〈33P〉</p> <p>○徒歩・自転車利用率が全国政令指定都市でトップ。〈34P〉</p> <p>○地下鉄・市バスは京都市内公共交通の50%以上を占める、市の中心的な交通機関となっている。〈35P〉</p> <p>○市バスは、数次にわたる健全化努力によって、累積赤字の解消と一般会計補助金に頼らない経営が視野に入っている。〈36P〉</p> <p>○市民の都心部への移動手段は公共交通機関が多い。〈37P〉</p> <p>○駐輪場の整備台数は増加している。〈38P〉</p> <p>○全市的には放置自転車の台数が減少している。〈39P〉</p> <p>○バリアフリー化した旅客施設は着実に増加している。〈40P〉</p> <p>○市民は、歩行者を最優先する「歩くまち・京都」を目指すと考えている。〈41,42P〉</p> <p>○パークアンドライド利用者の満足度は高い。〈43P〉</p> | <p>○観光客の30%がマイカーで入洛する。〈44P〉</p> <p>○歴史的都心地区では、歩行者とクルマの間に、空間のアンバランスが生じている。〈45P〉</p> <p>○マイカーの流入により、まちの魅力が損なわれている。〈45P〉</p> <p>○地下鉄は、東西線の建設費がバブル期と重なったことや、乗客数が伸び悩んでいることなどから、全国一厳しい経営状況である。〈46P〉</p> <p>○観光客数の伸びに比べて、地下鉄、市バスの乗客数の伸びが少ない。〈47P〉</p> <p>○市民は、「交通」を観光都市・京都の課題であると考えている。〈48,49P〉</p> <p>○「交通」に関する観光客の評価が低い。〈50P〉</p> <p>○市バス・地下鉄の路線設定に対する満足度は比較的高いものの、市バスの「運行の定時性」について、不満の方が多い。〈51P〉</p> <p>○安全に通行できる自転車道・自転車レーンの整備が求められている。</p> |



## 2-2

### 論点2 政策の基本方向

◇ 今後10年間の基本的考え，価値観は？



## <現在の方向性>

### 「歩くまち・京都」総合交通戦略

#### 【基本理念】

自動車交通の様々な抑制策等を通じて、クルマを重視したまちと暮らしを、「歩く」ことを中心としたまちと暮らしに転換していくこと。京都議定書誕生の地であり、環境モデル都市でもある京都が日本を代表する「国際文化観光都市」であると同時に、まちの賑わいを生み出す都市であり続けることを目指す。

#### 【目標像】

持続可能な脱「クルマ中心」社会のモデル都市の形成を目指して、世界トップレベルの使いやすい公共交通を構築し、歩く魅力にあふれるまちをつくり、また一人ひとりが歩く暮らし（ライフスタイル）を大切にすることによって「歩くまち・京都」を実現する。

#### 【3つの取組】

○既存の公共交通を再編強化し、使いやすさを世界トップレベルにする

〔「既存公共交通」の取組〕

○歩く魅力を最大限に味わえるよう歩行者優先のまちをつくる

〔「まちづくり」の取組〕

○歩いて楽しい暮らしを大切にするとライフスタイルに転換する

〔「ライフスタイル」の取組〕





## 「歩くまち・京都」憲章とは

### 日本で初めての歩くことを中心としたまちと暮らしに転換するための行動規範となる憲章

悠久の歴史の中で培われた世界に誇る京都の文化、文化を守り、育んでいくために、「人が主役の魅力あるまちづくり」を推進することを京都市民の皆様、京都を訪れる観光客の皆様などの京都に関わる全ての人の共通認識として、後世に引き継がれていくことの重要性について、「歩くまち・京都」総合交通戦略策定審議会や検討部会、市民アンケート、シンポジウム、パブリックコメントなどの機会を通じて市民の皆様と共に議論を重ねることにより作成。

## 憲章の本文

わたしたちの京都では、市民一人ひとり、

1 健康で、人と環境にやさしい、歩いて楽しい暮らしを大切にします。

そして、市民と行政が一体となって、

1 だれもが歩いて出かけたくなる道路空間と公共交通を整え、  
賑わいあるまちを創ります。

1 京都を訪れるすべての人が、歩く魅力を満喫できるようにします。

## 制定日

「いち、にい、さん」と「歩くまち・京都」の第一歩を歩み出す日として、平成22年1月23日に制定

# <現在の方向性>

## 京都市自動車運送事業経営健全化計画

- 市のマイカーから公共交通機関への転換の取組と連携して、路線・ダイヤの見直し、バス待ち環境向上や走行環境の改善などにより、1日当たりの乗客数を32万人まで増加させる。
- 平成27年度までに資金不足比率を20%未満に引き下げ、平成30年度までに累積欠損金及び累積資金不足を解消する。
- 黒字基調を堅持しつつ、一般会計補助金の削減を図り、平成30年度以降においては、一般会計からの任意補助金（生活支援路線補助金及び市バス購入費に対する補助金）に頼らない運営を目指す。

## 京都市高速鉄道事業経営健全化計画

- 地下鉄を活かしたまちづくりや政策を積極的に推し進め、地下鉄の利便性向上や駅周辺への集客施設の誘致などにより、1日当たりの乗客数を5万人増加させる。
- 平成21年度に現金収支を黒字化し、平成30年度までに資金不足比率を20%未満に引き下げる。
- 計画期間終了後の長期収支見込みにおいて、累積資金不足の最大値を1,000億円未満に抑制し、その早期解消に努める。

## 改訂京都市自転車総合計画（仮称）

- 放置自転車問題の解決と適正な自転車利用を進めるための施策を総合的に推進するため「京都市自転車総合計画」を改定中
- 民間事業者との共汗による駐車場整備をはじめとする自転車利用環境の整備及び撤去強化等による自転車利用マナー・ルールの確立

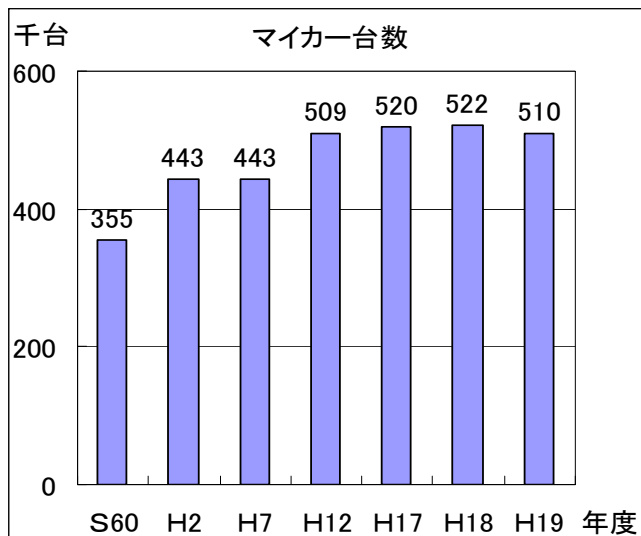
## ＜政策を進めるうえでの悩み＞

- 現段階では、自動車総量の抑制に、即効性があり持続的な効果を継続できる特別な方策がない。
- 公共交通ネットワークの利便性向上のためには、交通事業者の連携や公的支援を更に拡充する必要がある。
- マイカーから公共交通機関利用への交通行動スタイルの転換には時間を要する。



## <関連データ>

### ➤自動車交通の現状



京都市内のマイカー台数

出典:京都市交通事業白書(平成19年)

○マイカー台数増加

○都心部では違法駐車(荷さばき、客待ちタクシー等)の影響により交通渋滞が慢性化

○観光シーズンを中心に激しい交通渋滞が発生し、環境負荷の増大も懸念



国道9号・千代原口



四条通(四条柳馬場～堺町付近)

四条通の歩道側1車線のうち…  
平日では最大で約7割  
休日では最大で約6割  
が路上駐停車に占有されている

出典:都心部の歩いて楽しいまち推進のための  
交通等施策の検討・提案報告書(H18)  
(平成18年1月調査)

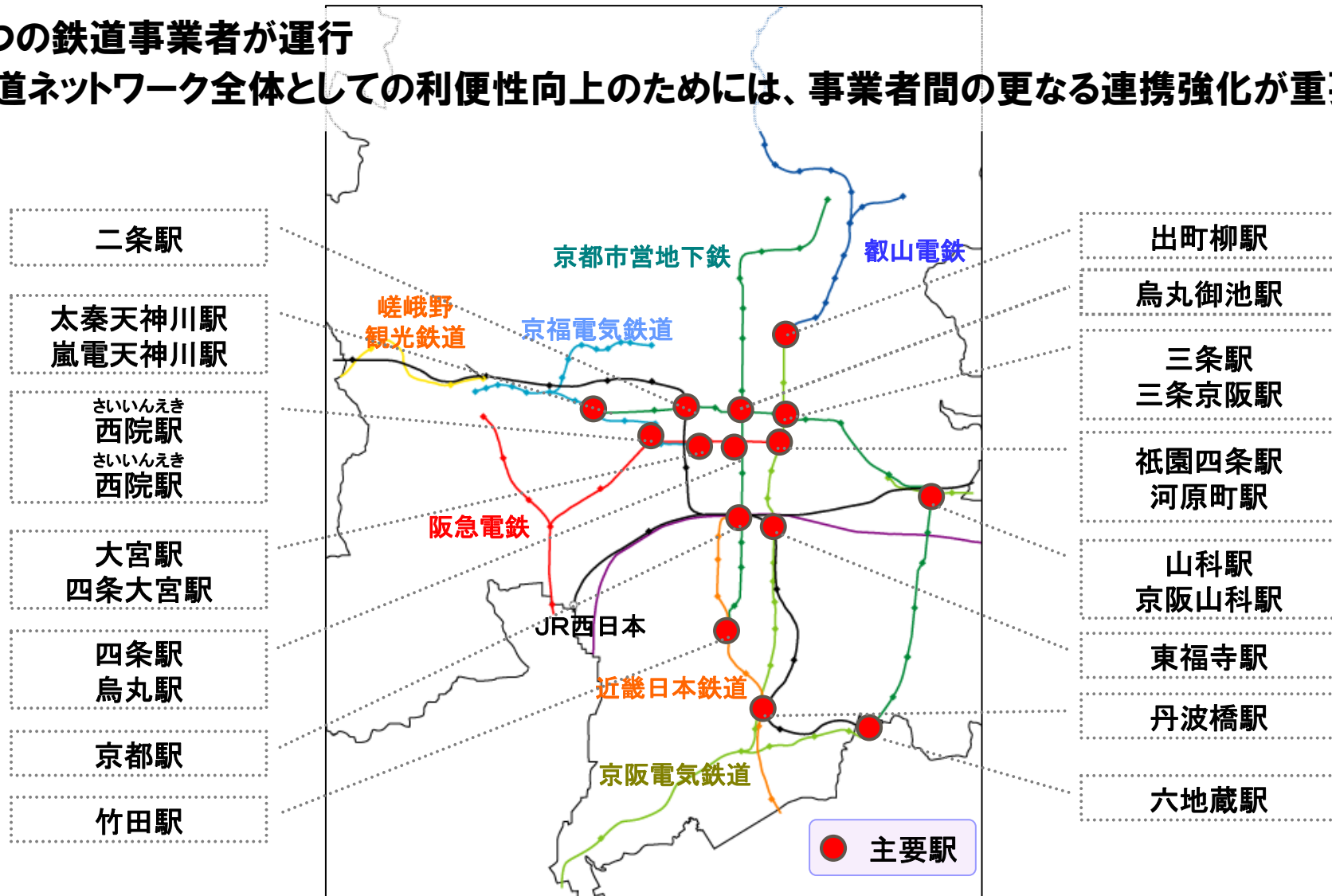


## <関連データ>

### ➤京都市内の鉄道ネットワーク図

○8つの鉄道事業者が運行

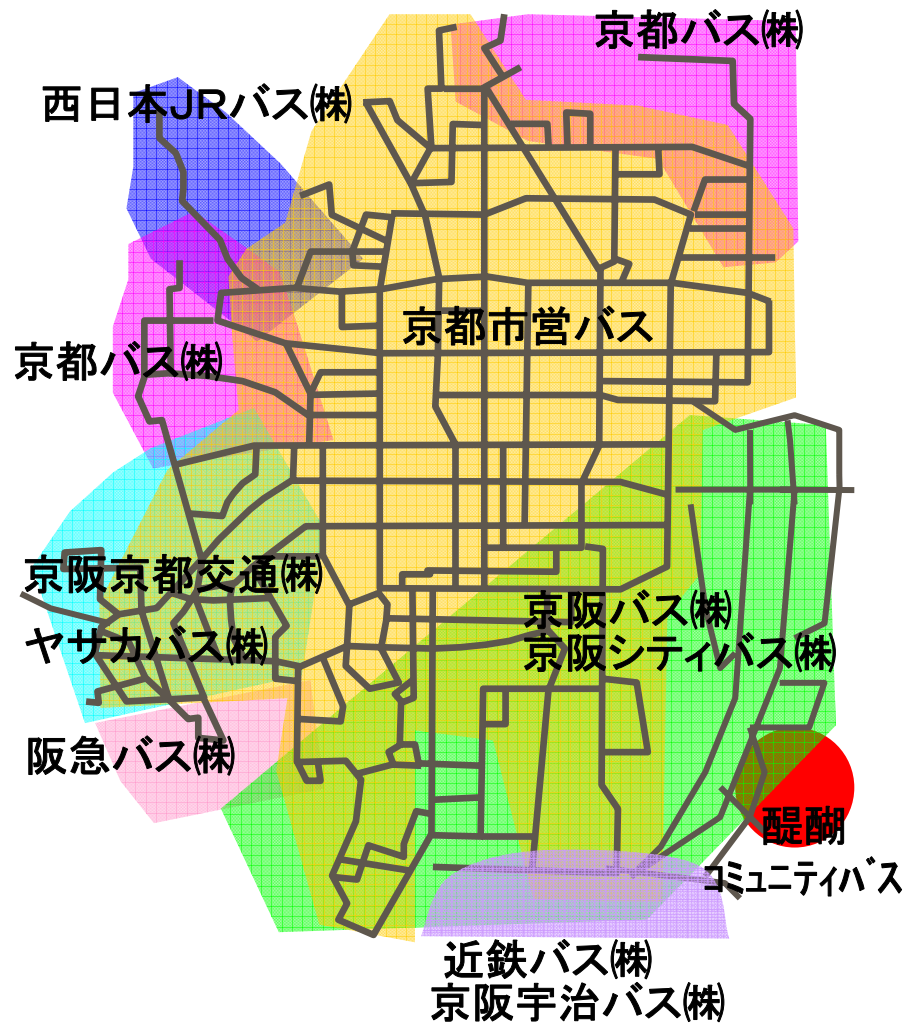
○鉄道ネットワーク全体としての利便性向上のためには、事業者間の更なる連携強化が重要





## <関連データ>

### ➤京都市内のバスネットワーク図



京都市内における乗合バスの主な運行イメージ

- 市バス及び民営バス(9社)、平成16年より醍醐コミュニティバス が運行



醍醐コミュニティバス

- バス事業者間、バスと鉄道との更なる連携が必要
- 系統の複雑さや乗り場のわかりにくさの改善, 定時性の確保等が重要
- 山間部をはじめとする地域生活交通の利用者が減少傾向

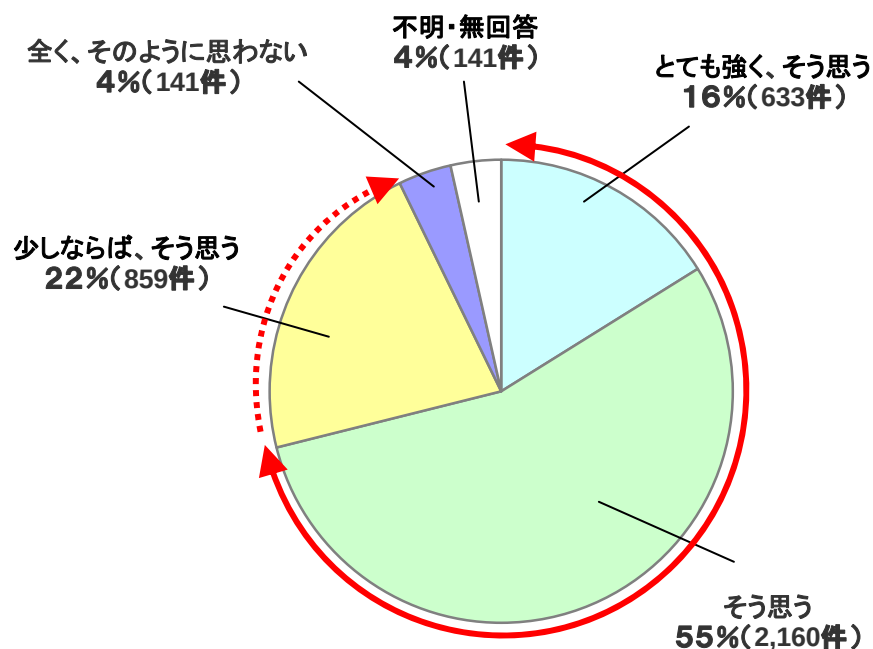




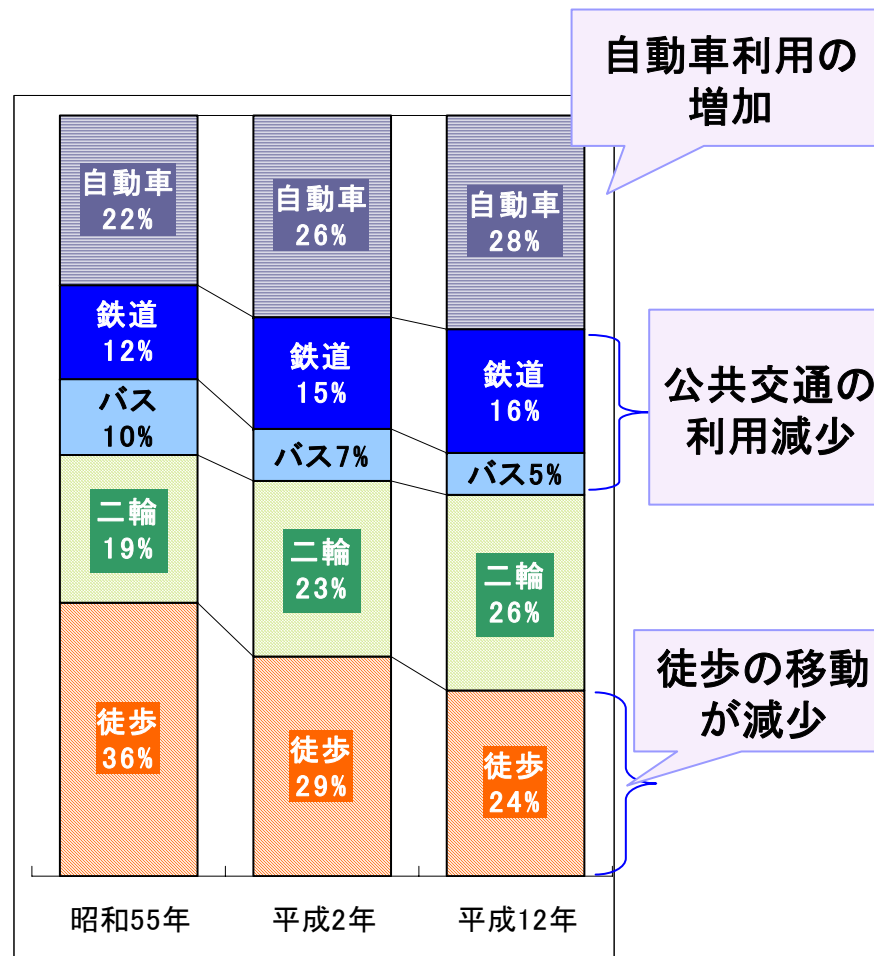
## <関連データ>

➤9割以上が「クルマ利用は控えた方が良い」と考えているが、自動車利用は増加している。

Q:  
自身の「クルマ利用」をできるだけ控えた方が良いと思うか？



⇒ **9割以上**の方が、控えた方が  
いいと思うと回答



京都市における交通手段の構成比の推移(%)

出典:京阪神都市圏パーソントリップ調査 19





## 2-3

### 論点3 市民と行政の役割分担と共汗

◇ 政策の推進に当たって市民や行政が行うべきことは？



# <市民と行政の共汗事例>

## <本市の事例>

### ・「歩くまち・京都」総合交通戦略の策定

「歩くまち・京都」総合交通戦略策定審議会のライフスタイル検討部会に、公募による市民委員（2人）に参加していただいたほか、来場者参加型シンポジウムの開催など、市民参加のもと、「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定した。

### ・観光地等交通対策

秋の観光ピーク期である11月に、日本有数の観光地である嵐山及び東山地区において、交通の円滑化と安全快適な歩行者空間を創出するため、地元住民、交通事業者及び京都府警本部等関係機関と連携を図り、交通対策に取り組んでいる。

### ・人が主役のまちなか道路 WS

地元住民の皆様が主体となったワークショップを開催し、通過交通の抑制や自動車速度の低減策などについて、検討を進めている。

### ・地下鉄駅及び駅周辺におけるイベントの開催

地域住民と連携した「朝市」の開催や、市内の農家の方々と協力した旬野菜直売所の開設。（H20～）さらに、「市バス・地下鉄愛好会」の取組として、大学生の企画・運営に市がPRなどで協力し、市バス・地下鉄を使ったイベントを開催。（H21～）

※市バス・地下鉄愛好会

大学などが自主的に企画・運営する市バス・地下鉄の増客につながるイベント等について、交通局がPRなどの協力を行う取組

### ・地下鉄沿線地域の観光開発

山科・醍醐地域の観光推進と地下鉄の利用促進のため、21年5月に「京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】」を発売し、清水焼団地など地元でもPRをしていただいた。さらに、21年11月には、山科の地元関係団体との協力により、観光イベント「京都・やましな観光ウィーク」を実施し、地下鉄駅でもPRを行うなど、地下鉄の沿線地域と市の関係部局が連携して、地域の活性化と地下鉄の乗客増を図っている。



## 2-4

### 論点4 10年後に目指すべき姿

◇ 10年後のあるべき姿やそれが達成された状態を測る指標・目標値は？

## <主な指標例>

### ◆分野別計画で用いている指標

| 指標                          | 目標値<br>(目標年次)     | 現況値<br>(20年度)           | 備考                    |
|-----------------------------|-------------------|-------------------------|-----------------------|
| 非自動車分担率                     | 80%超              | 約72%<br>(平成12年PT調査)     | 「歩くまち・京都」<br>総合交通戦略   |
| 地下鉄の乗客数                     | 5万人増加<br>(平成30年度) | 32万8千人                  | 京都市高速鉄道事業経<br>営健全化計画  |
| 市バスの乗客数                     | 32万人<br>(平成25年度)  | 31万6千人                  | 京都市自動車運送事業<br>経営健全化計画 |
| 地下鉄・市バス事業の資金不足比率            | 20%未満             | 地下鉄 133.5%<br>市バス 59.7% | 財政健全化法                |
| 全旅客施設に占める<br>段差解消済みの旅客施設の割合 | 68.0%<br>(平成22年度) | 59%                     | 京都市交通バリア<br>フリー全体構想   |

### ◆その他の指標例

| 指標           | 目標値<br>(目標年次)                    | 現況値<br>(20年度)      | 備考              |
|--------------|----------------------------------|--------------------|-----------------|
| 温室効果ガス排出量の削減 | 中期目標40%(平成42年)<br>長期目標60%(平成62年) | 6.0%削減<br>(19年確定値) | 環境モデル都市<br>行動計画 |



## ◆政策評価で用いている指標

| 指 標                                                                     | 現況値（20年度） |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 市域内の人の移動における市バス・地下鉄ネットワークの利用分担率<br>＜京都市内の交通機関利用者に占める市バス・地下鉄利用者の割合＞      | 25.8%     |
| 都心地域における市バスの運行所要時間<br>＜市バスが都心地域（四条烏丸～四条河原町）を運行する際に要する運行時間の平均値＞          | 421秒      |
| 観光客公共交通利用割合<br>＜本市への観光客が利用する交通手段に占める公共交通の割合＞                            | 71.0%     |
| 京都観光の感想<br>＜観光客へのアンケートにおいて、「交通」に対する質問に対して「悪い」と回答した割合＞                   | 22.0%     |
| パーク＆ライドの利用者満足度<br>＜パークアンドライドの利用者アンケート調査における「とても良かった」「まあまあ良かった」とする回答の割合＞ | 96.1%     |
| バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合                                           | 53.2%     |
| 放置自転車の台数                                                                | 7,896台    |
| 自転車等駐車場の設置箇所数                                                           | 96箇所      |
| 自転車等駐車場の収容台数                                                            | 45,330台   |
| 都市型レンタサイクルの設置台数                                                         | 570台      |
| 歩道の整備延長                                                                 | 2,125m    |

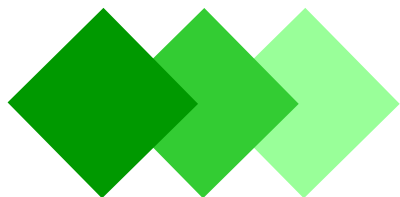


## ◆1万2千人市民アンケート(※)で提案のあった指標

| 指標                |
|-------------------|
| タクシーによる交通渋滞状況の影響  |
| 各交通機関の運行の普及率      |
| 公共交通機関の運賃         |
| 行政区別交通機関の普及率（公平に） |
| 最寄りの地下鉄駅までの時間     |
| 市バス・地下鉄の便利度       |
| 市バスの市民利用率         |
| 市バス定時運行           |
| 通勤時間（地下鉄）         |
| 通勤通学公共交通機関利用率     |

※1万2千人市民アンケート...次期京都市基本計画の策定に当たって実施したアンケート調査(20年度)





## 3 参考資料

|     |                |     |
|-----|----------------|-----|
| 3-1 | 現状分析関連データ      | 27P |
| 3-2 | 主な分野別計画の概要     | 56P |
| 3-3 | 融合委員会ワークショップ結果 | 64P |



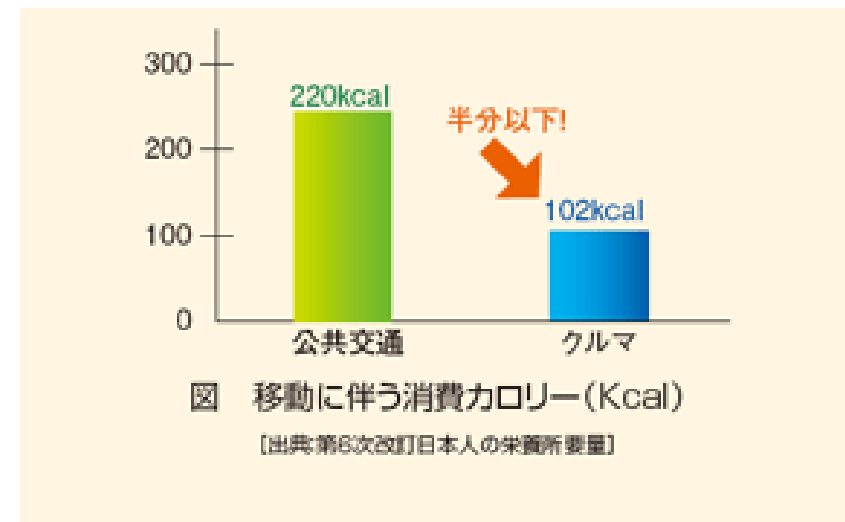
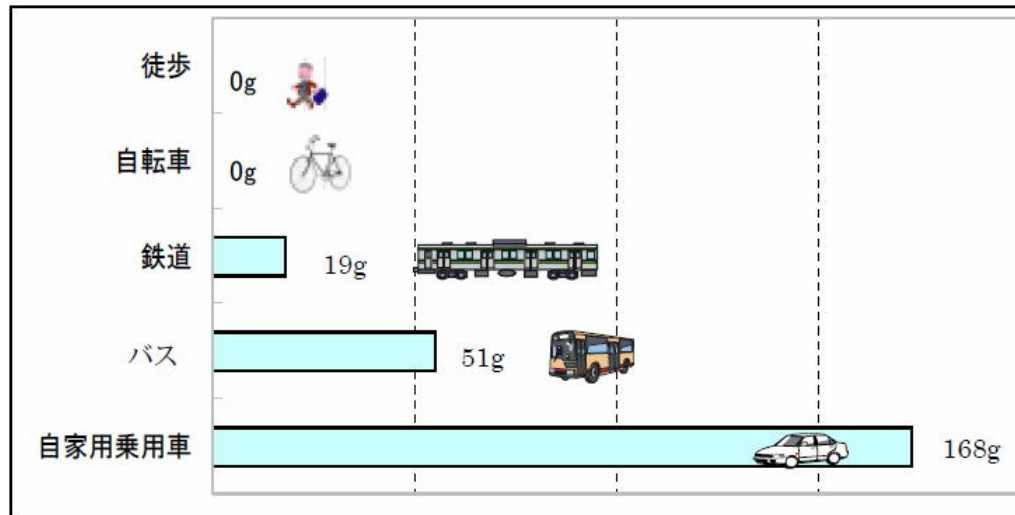
## ◆客観データ

追い風

- 鉄道・バスは環境にやさしい乗り物である。
- 健康への関心が高まっている。

● 1人1kmあたりの輸送に排出するCO<sub>2</sub>の量を見ると、自家用車に比べて、鉄道は約9分の1、バスは約3分の1

● 自動車を利用した場合の平均消費カロリーは、公共交通を利用した場合と比べて、約2分の1である。



出典：東京都環境局ホームページ

<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/jidousya/kotsuryo-taisaku/sustainable-traffic.html>

出典：かしこいクルマの使い方を考えるプロジェクト京都  
<http://www.kashikoikuruma-kyoto.jp/O1-O2-O1.html>

◆客観データ

➤世界の流れは、「人と公共交通優先型社会」へとなっている。

■ **クルマ依存型(かつてのアメリカ型まちづくり)**

- 自動車の利用を前提とした都市形成
- 郊外の大型ショッピングセンター
- マイカーが生活の必需品

■ **人と公共交通優先型(ヨーロッパ型まちづくり)**

- マイカー抑制と公共交通優先により、多くの人がまちに集まり、賑わいを生み出す持続可能な都市として発展

世界の流れは「クルマ依存型社会」からの脱却



アメリカ・ポートランド

アメリカも  
含めて



フランス・グルノーブル



ドイツ・ミュンヘン

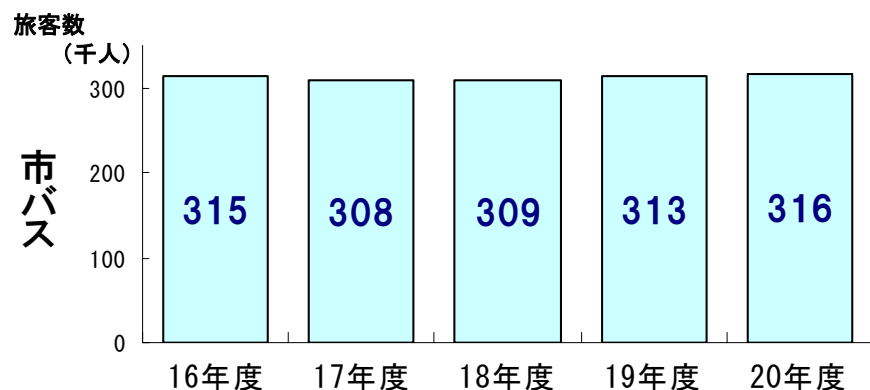
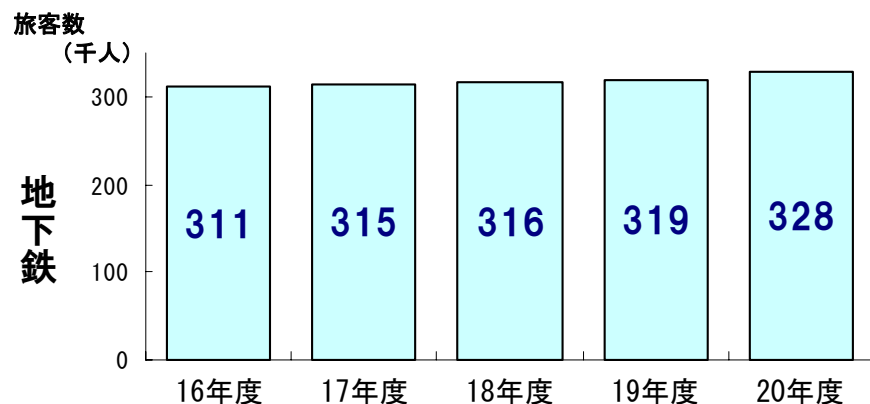


## ◆客観データ

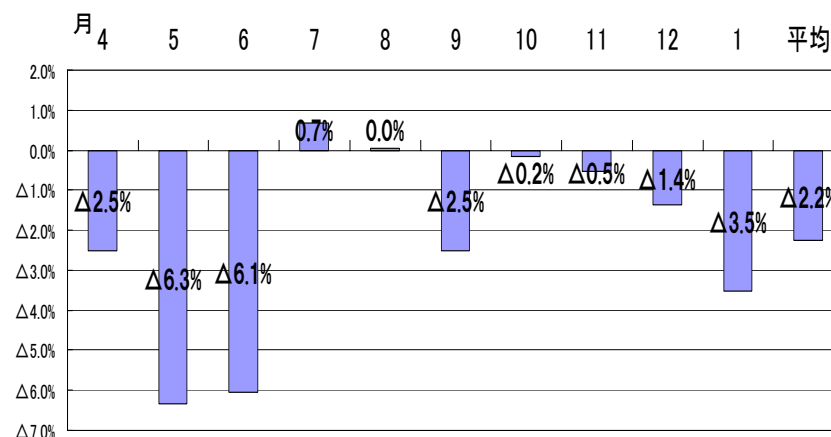
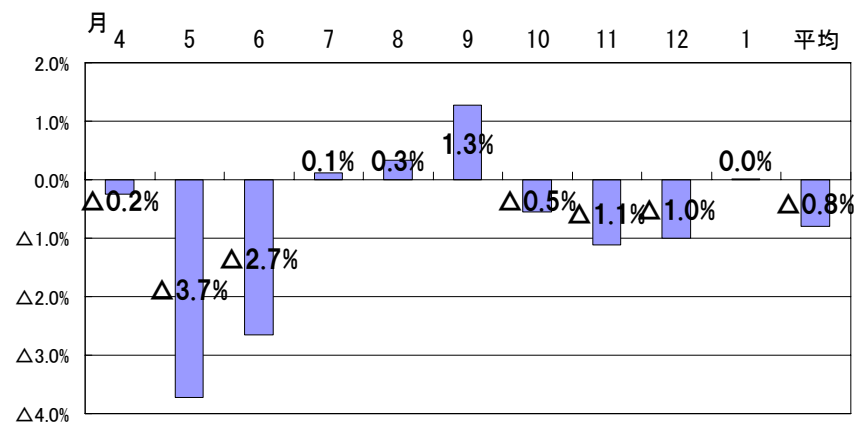
向かい風

- 市バス・地下鉄の利用者数は、近年徐々に増加してきたが、平成21年度は、高速道路料金的大幅割引や新型インフルエンザの流行などにより大きく減少。高速道路料金無料化も含め、今後の公共交通への影響が懸念される。

近年の旅客数の推移(1日当たり)



21年度対前年同月増減率(速報値)





## ◆客観データ

向かい風

➤日本では、鉄道の運営費に対する公的支援が無い。

### 先進国都市鉄道の運営費に対する補助金支出

| 運営費に対する補助割合 |        |
|-------------|--------|
| 日本（地下鉄）     | 0%     |
| アメリカ        | 30～50% |
| フランス        | 約50%   |
| ドイツ         | 約55%   |
| イギリス        | 30～65% |
| イタリア        | 55～75% |

日本の地下鉄は運賃収入で自立経営しなければならない

出典：KISS-Rail【JARTS（社団法人海外鉄道技術協力協会）刊行】



## ◆客観データ

## 京都の強み

➤ 京都議定書誕生の地であり、環境モデル都市に選定された。

## 京都議定書

### 目 標

○ 温室効果ガスを2008年から2012年までの期間中に1990年レベルから6%削減（国）

## 京都市環境モデル都市行動計画

### 目 標

○ 温室効果ガスを2030年までに1990年レベルから40%削減，  
2050年までに60%削減

### 取 組

[3つのシンボルプロジェクト]

○ 人が主役の道づくり，まちづくりを目指す「歩くまち・京都」戦略

○ 「低炭素景観の創造」を目指す「木の文化を大切にするまち・京都」戦略

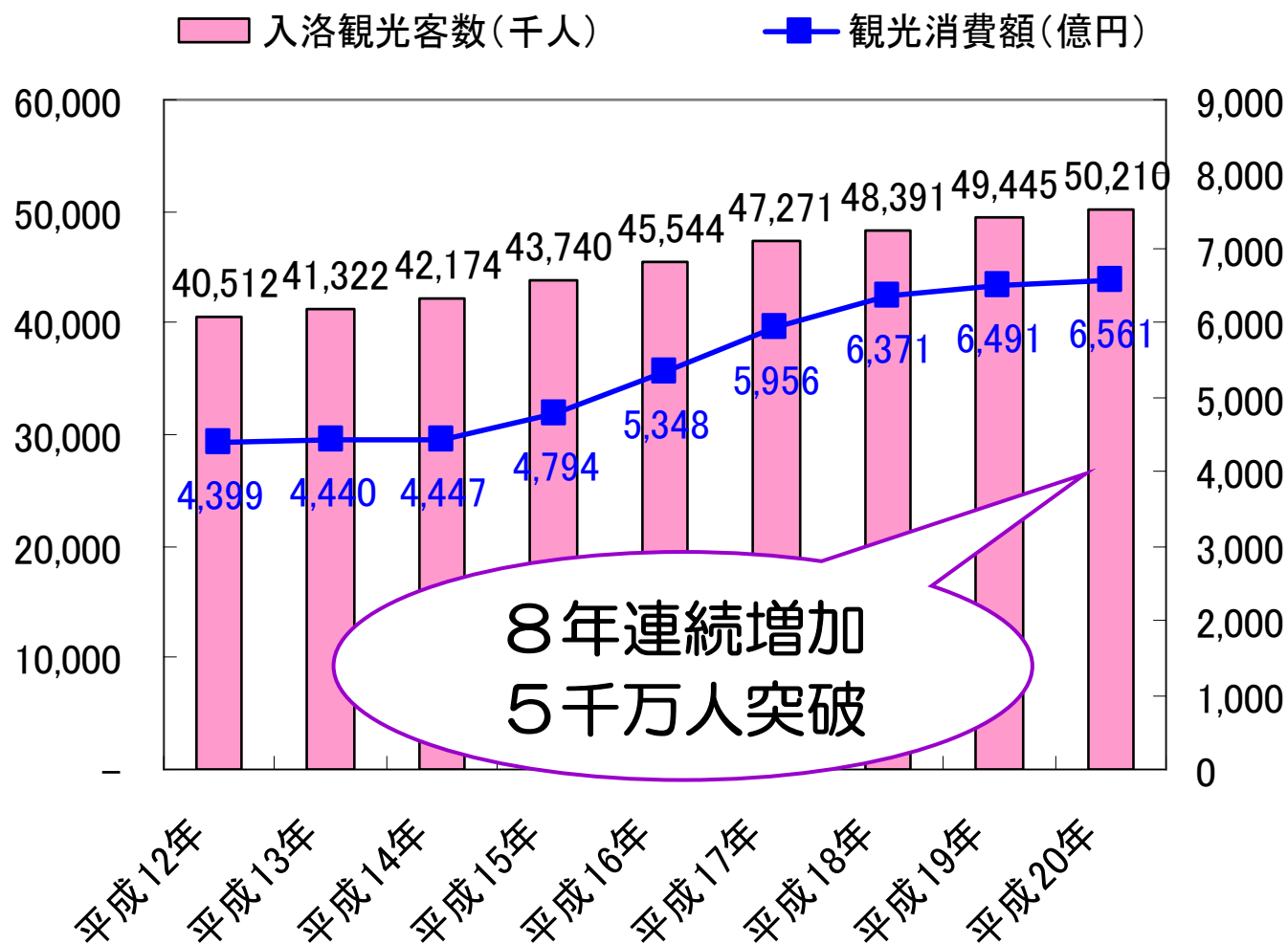
○ “DO YOU KYOTO?” ライフスタイルの変革と技術革新



## ◆客観データ

## 京都の強み

➤年間5000万人を超える観光客が入洛する。



## 京都市の入洛観光客数、観光消費額の推移

出典京都市観光調査年報(平成20年度)



## ◆客観データ

➤ 14箇所の世界遺産など，1200年の歴史に育まれた世界に誇る伝統と文化を有する。



高山寺



龍安寺



上賀茂神社



下鴨神社



金閣寺



仁和寺



銀閣寺



清水寺



天龍寺



東寺



二条城



西芳寺(苔寺)



西本願寺



醍醐寺

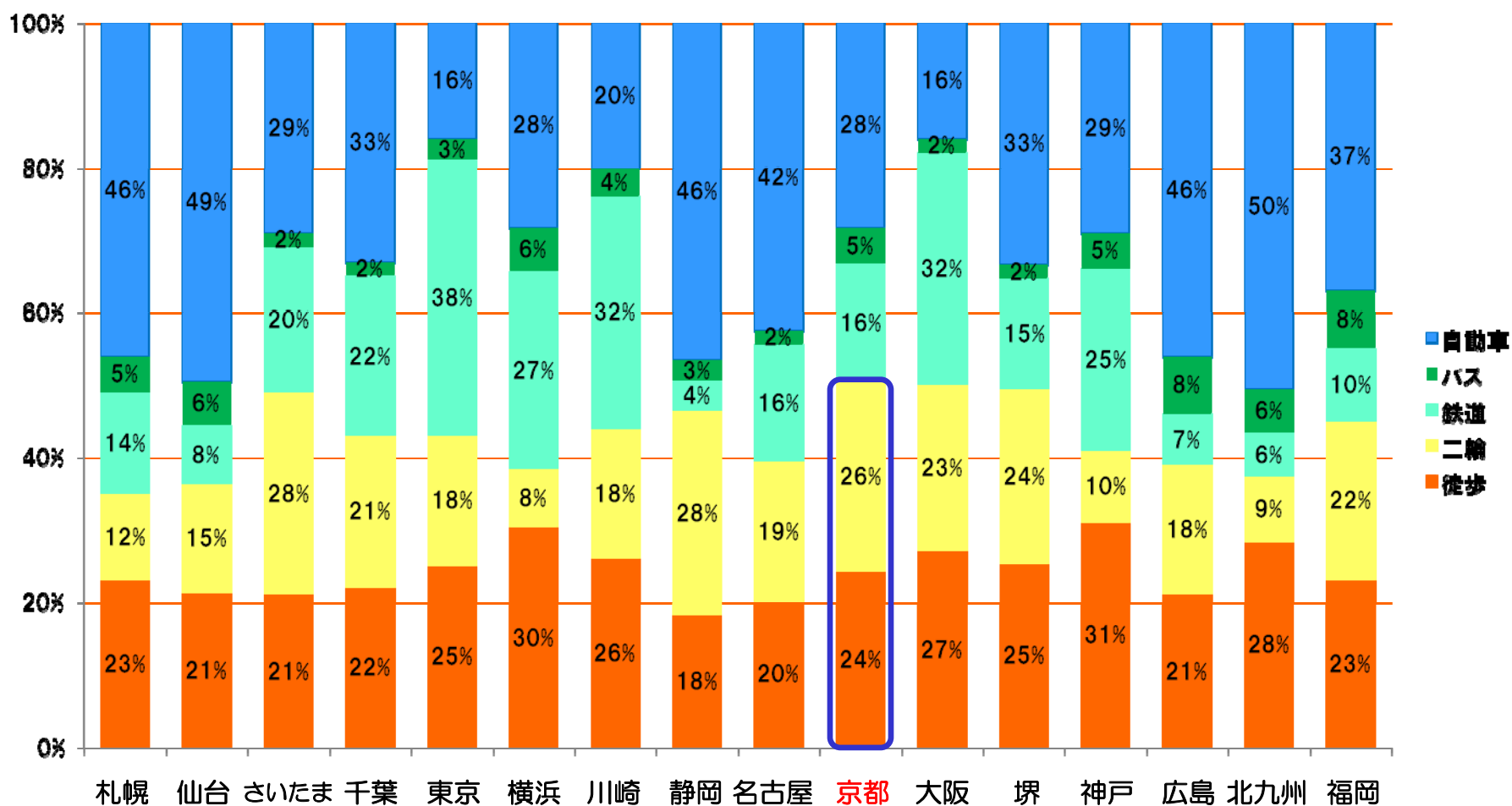
写真出典：京都市文化市民局文化芸術都市推進室  
文化財保護課



## ◆客観データ

## 京都の強み

➤ 徒歩・自転車利用率が政令指定都市でトップ。



出典： 京阪神圏 平成12年京阪神都市圏パーソントリップ調査  
他都市 平成17年全国パーソントリップ調査



## ◆客観データ

## 京都の強み

- 地下鉄・市バスは京都市内公共交通の50%以上を占める，市の中心的な交通機関となっている。

京都市域内公共交通の輸送状況（平成20年度，1日当たり）

（単位 千人）

| 交通機関      | 輸送人員  | 構成比率 | } 55% |
|-----------|-------|------|-------|
| 市バス       | 316   | 27%  |       |
| 地下鉄       | 328   | 28%  |       |
| JR，民鉄     | 294   | 25%  |       |
| 民営バス      | 54    | 5%   |       |
| ハイヤー，タクシー | 176   | 15%  |       |
| 合計        | 1,168 | 100% |       |

（交通局調べ）

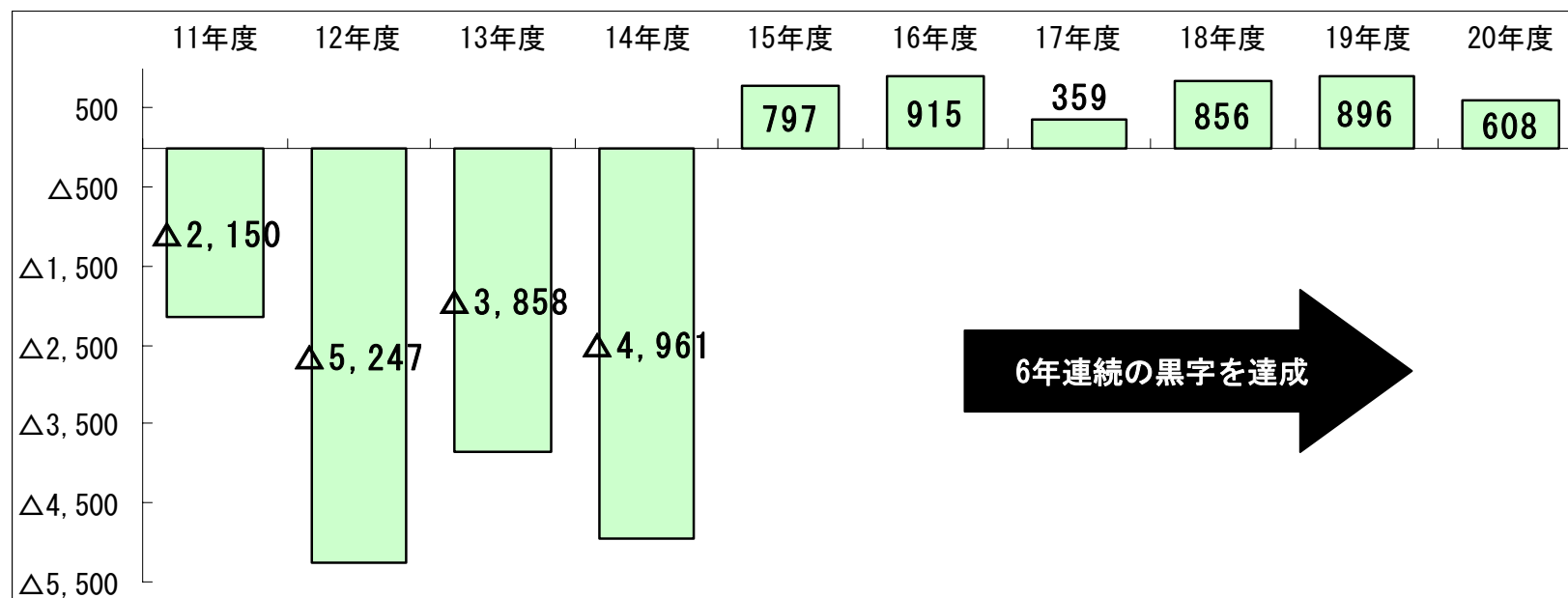


## ◆客観データ

## 京都の強み

- 市バスは、数次にわたる健全化努力によって、累積赤字の解消と一般会計補助金に頼らない経営が視野に入っている。

市バス事業の経常収支の推移（単位：百万円）



さらに、市バス事業の経営健全化計画では、一般会計補助金を削減しつつ、平成30年度までに累積欠損金及び累積資金不足を解消し、その後は、一般会計からの任意補助金に頼らない自立した経営を行うことを目標としている。



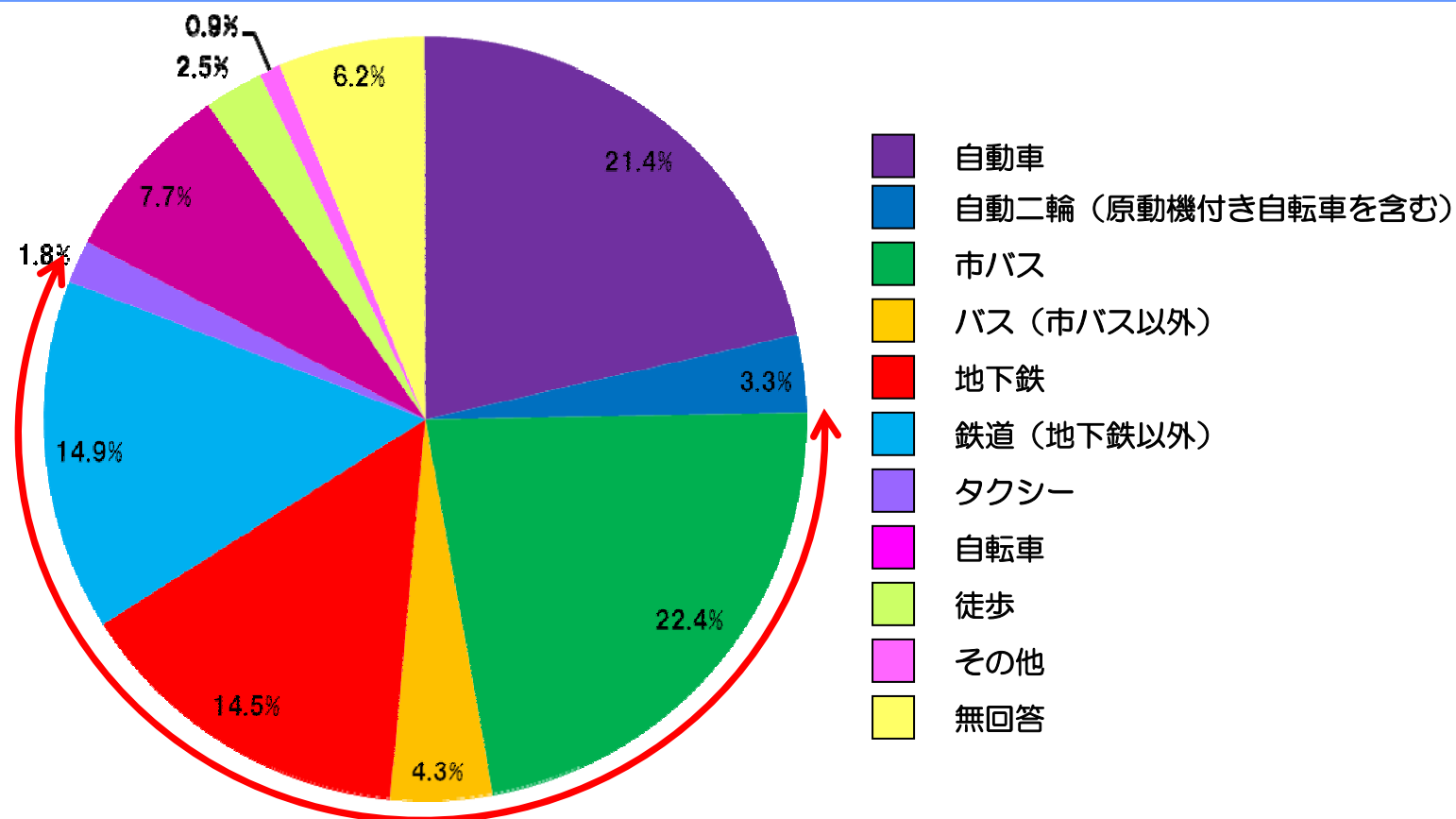
## ◆客観データ

## 京都の強み

➤市民の都心部への移動手段は公共交通機関が多い

●都心部への移動手段は公共交通機関が5割以上

歴史的都心地区(四条通, 河原町通, 御池通及び烏丸通で囲まれた地区)にお越しになる際に, ご利用される交通手段は何ですか。



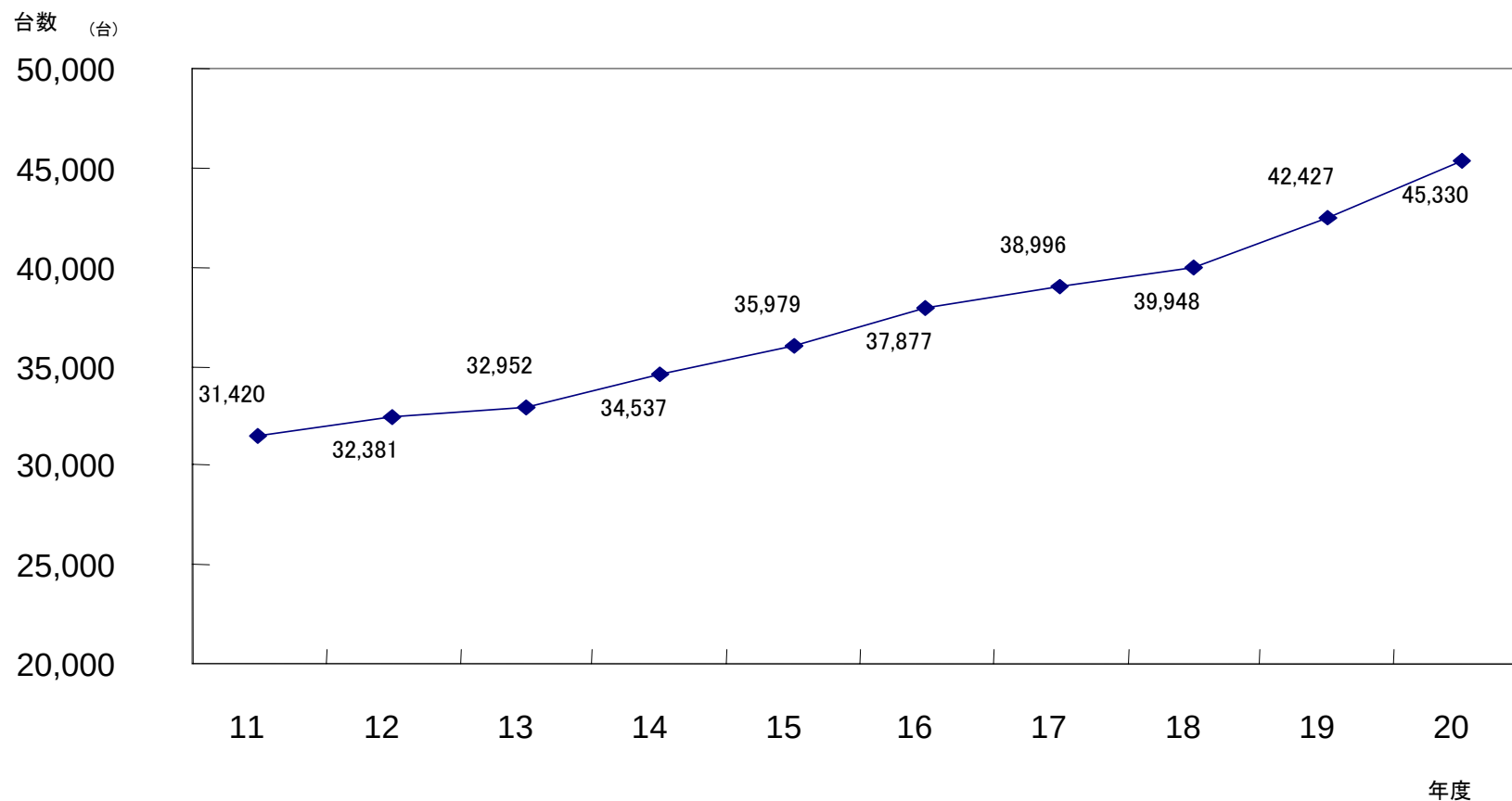


## ◆客観データ

京都の強み

➤ 駐輪場の整備台数が増加している。

○ 駐輪場整備台数の推移

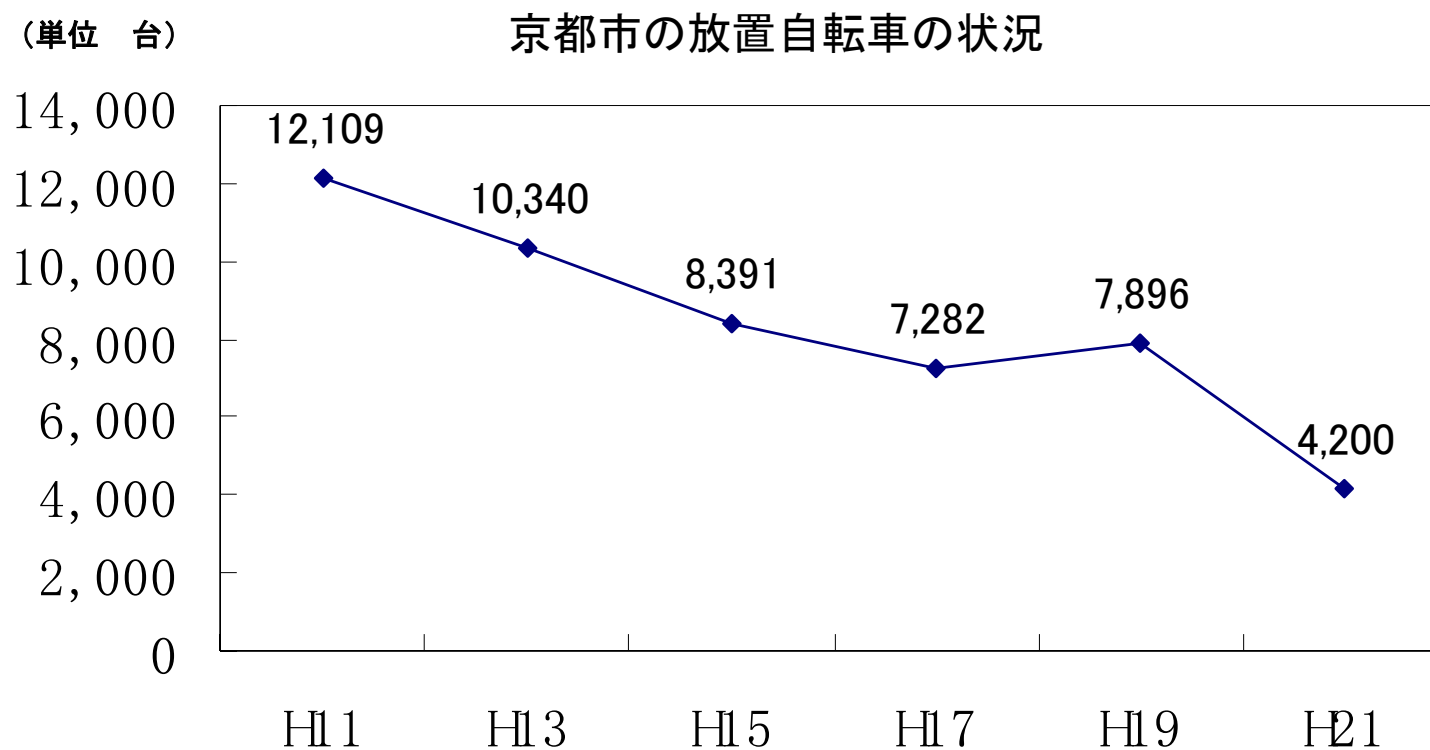




## ◆客観データ

## 京都の強み

➤全市的には放置自転車台数が減少している。





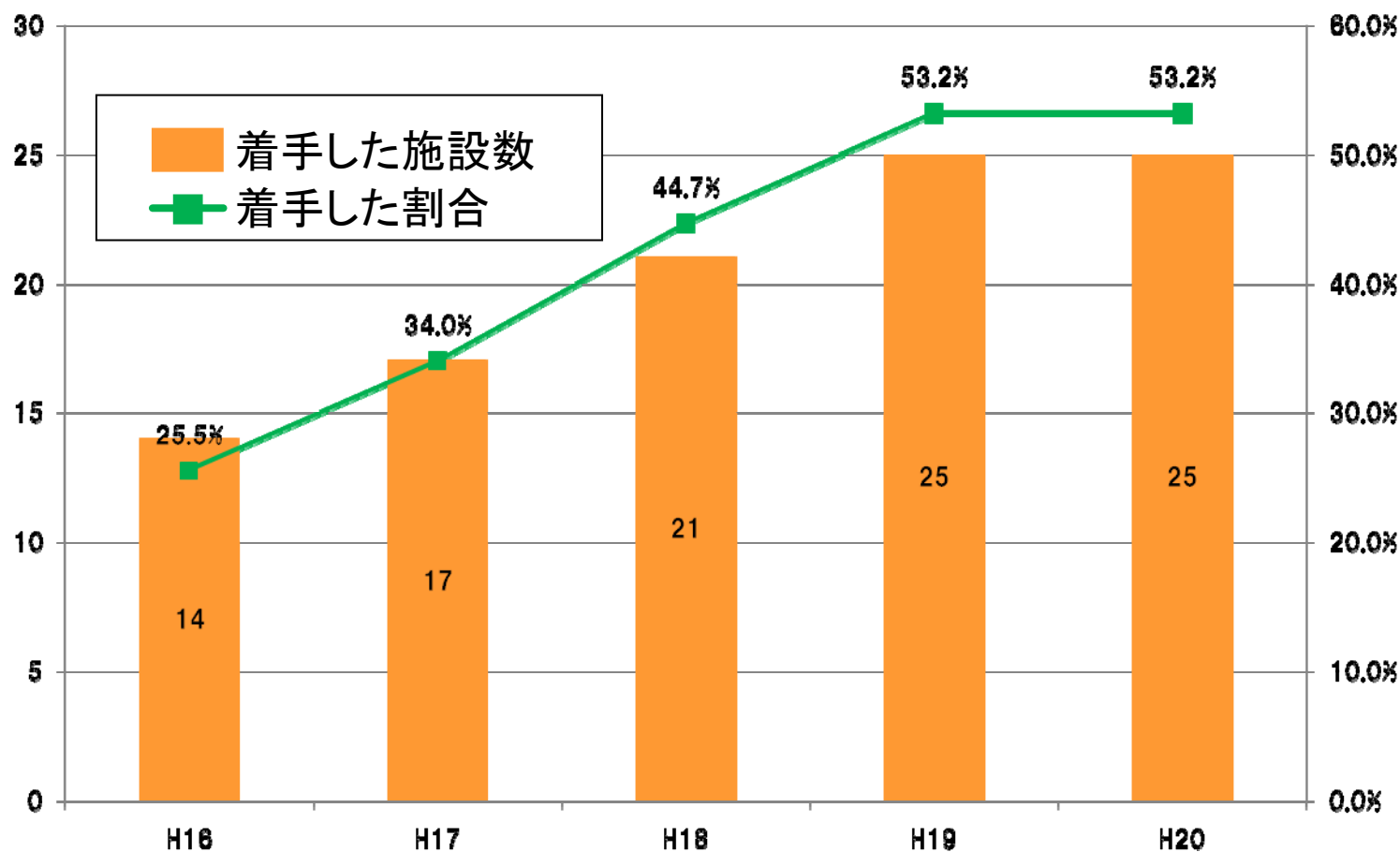


## ◆客観データ

## 京都の強み

➤ バリアフリー化した旅客施設割合は、着実に増加している。

● バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合\*が年々増加



※ 「京都市交通バリアフリー全体構想」で選定した14の重点整備地区及び重点整備地区選定の対象となった地区において、バリアフリー化が必要とされる旅客施設（47）のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手した施設の割合。

◆客観データ

➤市民は、歩行者を最優先する「歩くまち・京都」を目指すべきと考えている。

「歩くまち・京都」市民アンケート

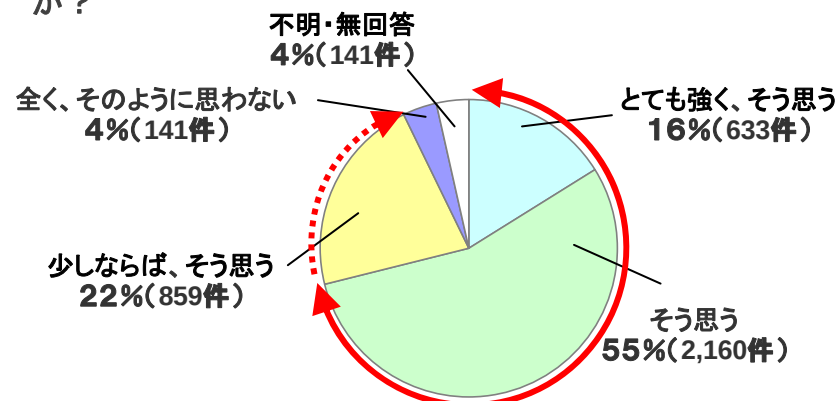
目的・内容

・クルマ中心のライフスタイルから、徒歩や公共交通、自転車優先されるライフスタイルへの転換に向けた施策立案の基礎資料として活用する  
・モビリティマ・ネジメントの手法を盛り込み、かしこいクルマの使い方を考えていただくきっかけづくりとしても実施

主な結果

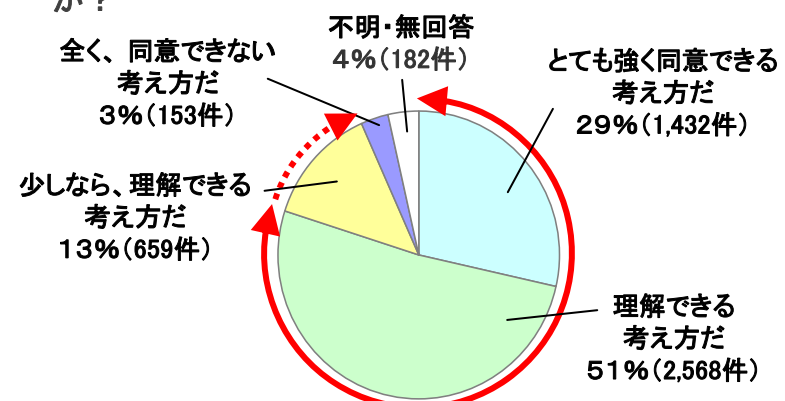
|      | 第1回アンケート                | 第2回アンケート                                |                       |
|------|-------------------------|-----------------------------------------|-----------------------|
|      |                         | 第1回協力者                                  | 第2回新規発送者              |
| 調査対象 | 18歳以上の市民14,700人         | 第1回アンケートにおいて、第2回アンケートの協力意向が確認できた方2,543人 | 18歳以上の市民500人          |
| 調査期間 | 平成20年11月13日～30日         | 平成20年12月11日～26日                         |                       |
| 回収状況 | 回収数5,038件<br>(回収率34.3%) | 回収数1,799件<br>(回収率70.7%)                 | 回収数185件<br>(回収率37.0%) |

徒歩や公共交通・自転車を大切にしたいまちづくりは大切か？



⇒ 9割以上の方が、控えた方がいいと思う回答

徒歩や公共交通・自転車を大切にしたいまちづくりは大切か？



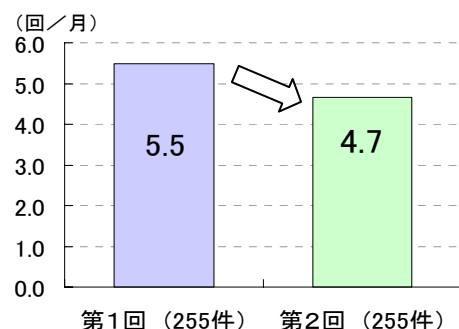
⇒ 9割以上の方が、理解できると回答

➤市民は、歩行者を最優先する「歩くまち・京都」を目指すべきと考えている。

## 主な結果

第1回アンケートで「クルマ利用を控えたい」と回答した方は、その後…

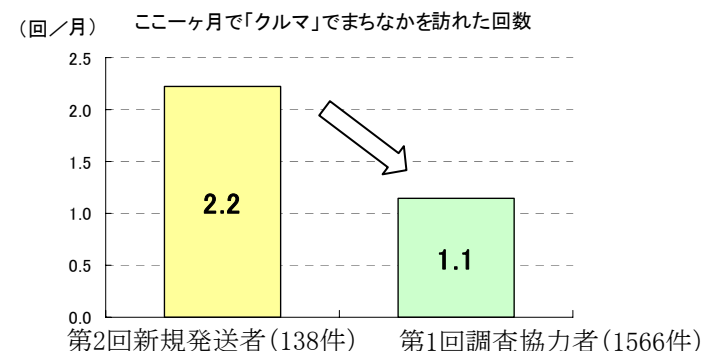
### 平日のクルマでの外出回数



⇒ 約15%減少

第1回アンケートを通じてコミュニケーションを図った方は、第2回アンケートで新規に回答いただいた方と比較して…

### クルマでのまちなか来訪回数



⇒ 半分

## まとめ

- ・「クルマを控えようという意識の高い方は、第1回のアンケートをきっかけとして、  
「実際の行動でもクルマ利用を控えた」(25～52%)
- ・アンケートについて話し合うことによって、  
「ご家族や身近な人のクルマ利用も減った」(10～36%) と推察される

・アンケート結果から示された市民の想いは、  
京都の「賑わい」と「歴史・伝統」を継承するために、**何よりも歩行者を最優先し、公共交通や自転車も活用し、クルマ利用を控えるまちづくり**を目指すべきと考えている方が多いと言える。

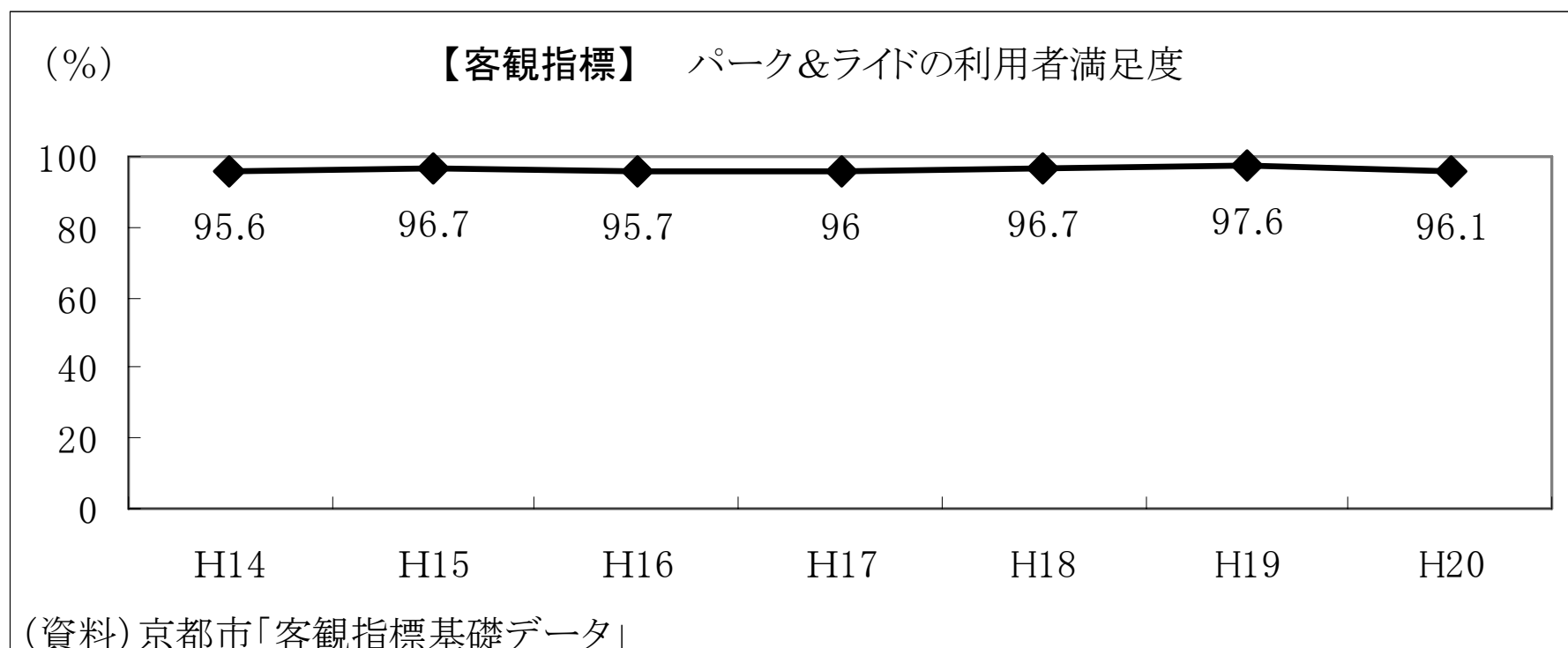


## ◆客観データ

京都の強み

➤パークアンドライド利用者の満足度は高い

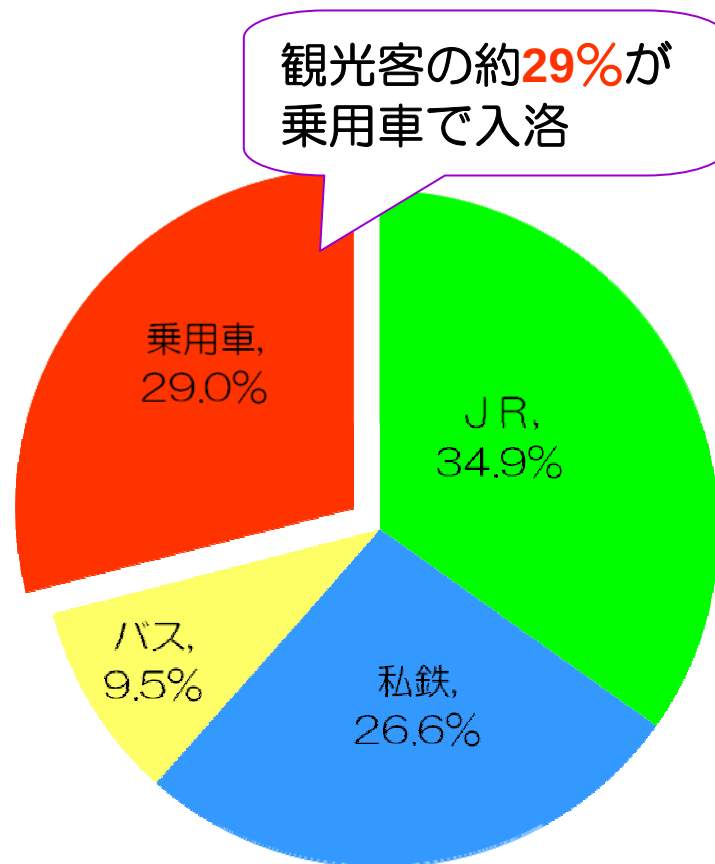
●例年パークアンドライドの利用者満足度が100%に近い水準で安定している



## ◆客観データ

## 京都が解決・克服すべき課題

➤観光客の30%がマイカーで入洛する。



観光客の利用交通機関別構成比

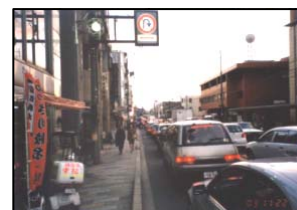
京都市観光調査年報(平成20年度)

### 混雑状況

#### 嵐山地区



観光シーズンの  
渋滞の状況



マイカーの流入  
による渋滞  
(東大路通)

八坂神社

#### 東山地区







## ◆客観データ

## 京都が解決・克服すべき課題

- 歴史的都心地区では、歩行者とクルマの間で、空間のアンバランスが生じている。
- マイカーの流入により、まちの魅力が損なわれている。

**歩行者交通量**  
幅員7mに  
約7,000人\*1

**乗用車交通量**  
幅員15mに  
約2,200人\*2



四条通(四条高倉付近)

### 四条通における混雑の様子

- 都心部の繁華街では、狭い歩道に多くの歩行者が集中
- 歩行者と自動車がアンバランスな状況
- 歩行者が安心・安全で快適に歩くことができるか懸念



三条通(三条麩屋町付近)

\*1: 平成18年1月調査結果

\*2: 平成17年度道路交通センサス

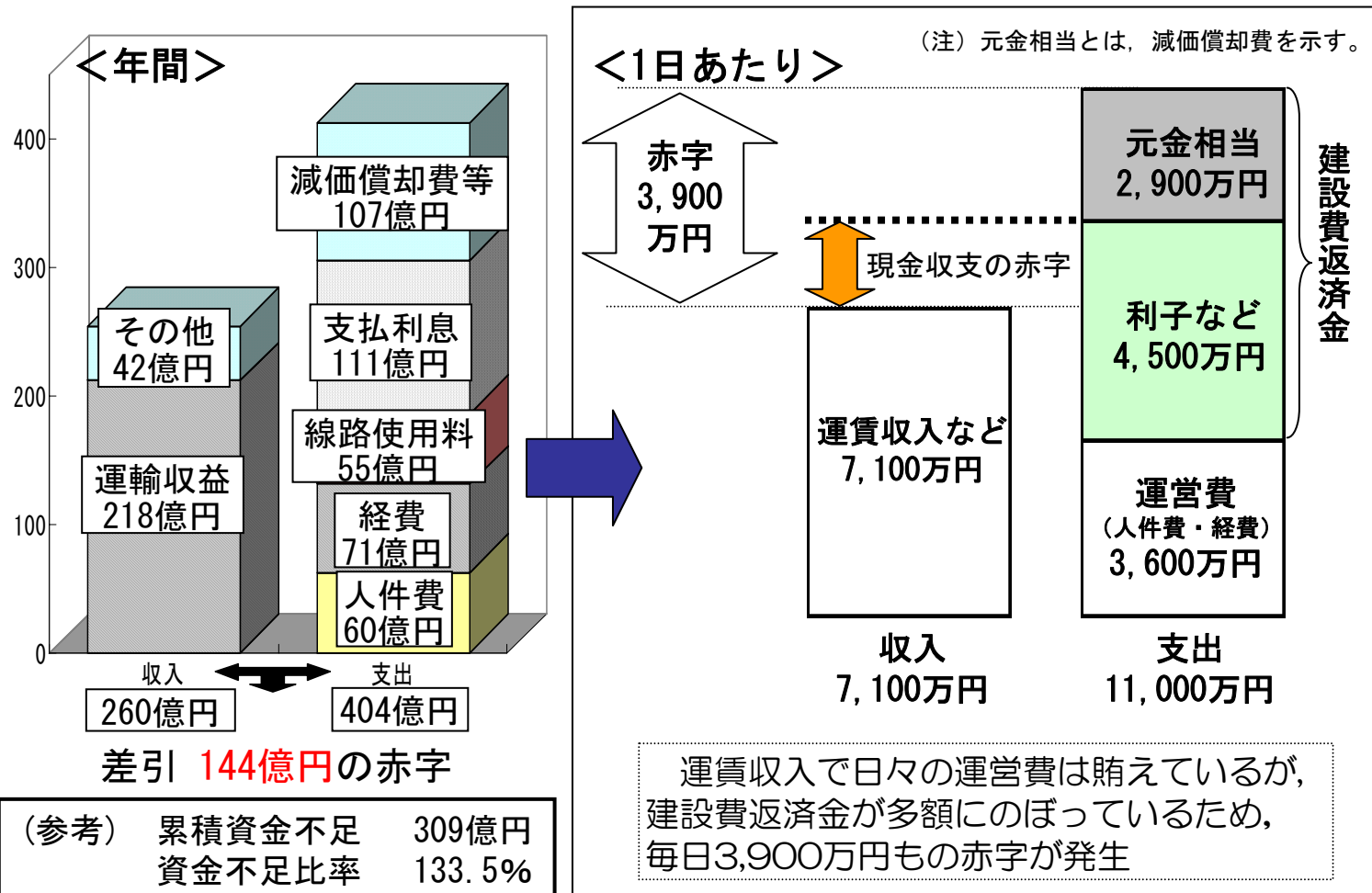


## 京都が解決・克服すべき課題

### ◆客観データ

- 地下鉄は、東西線の建設がバブル期と重なったことや、乗客数が伸び悩んでいることなどから、全国一厳しい経営状況である。

### 地下鉄事業の経常収支（平成20年度）



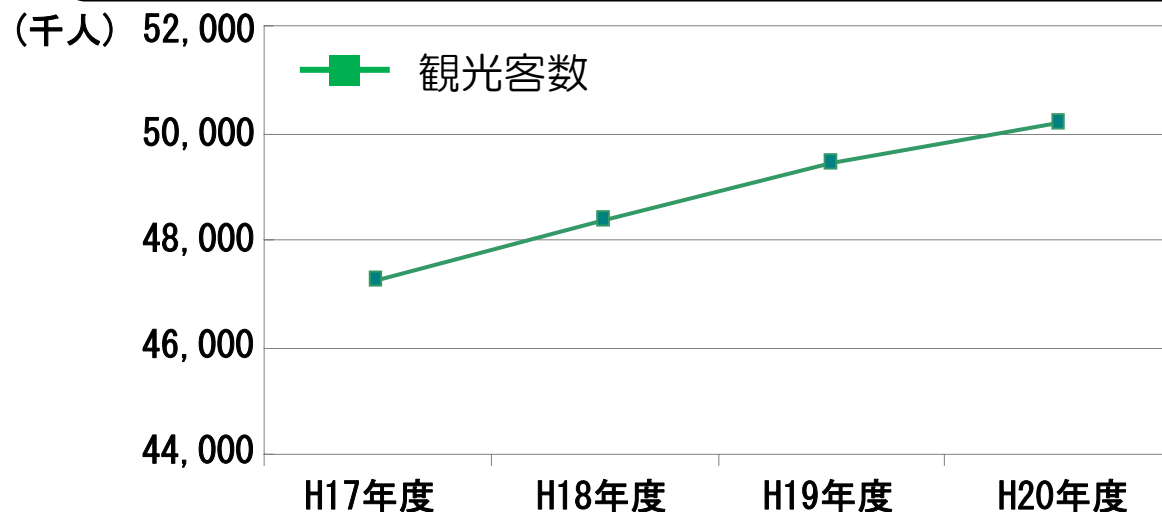




## 京都が解決・克服すべき課題

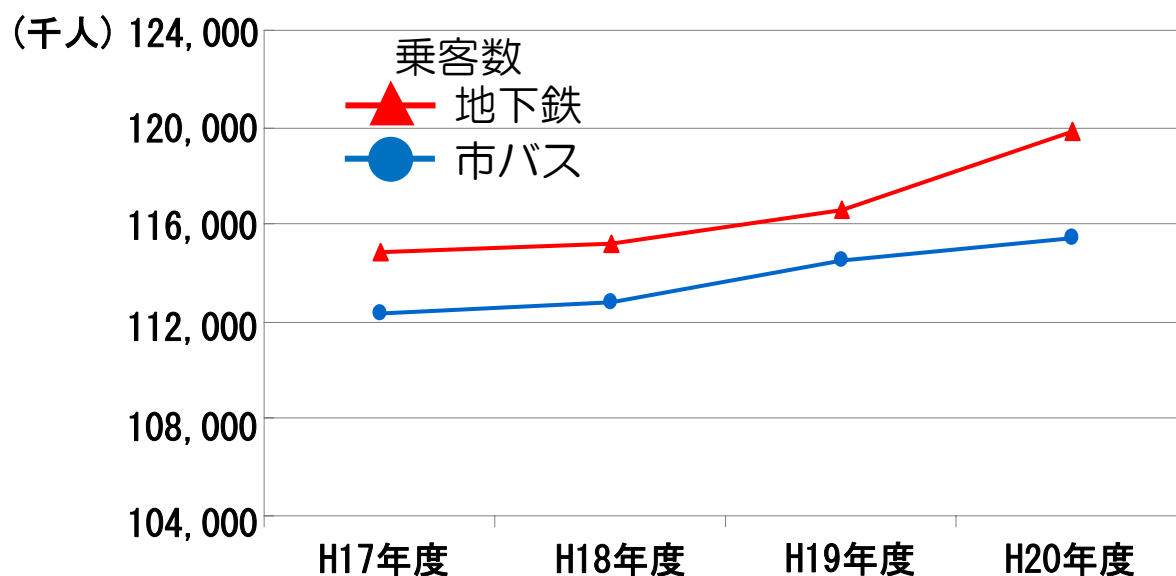
### ◆客観データ

➤観光客数の伸びに比べて、地下鉄・市バスの乗客数の伸びが少ない。



平成17年度の数値を100とした場合の平成20年度の数値

観光客数 106.2



地下鉄 104.3

市バス 102.8

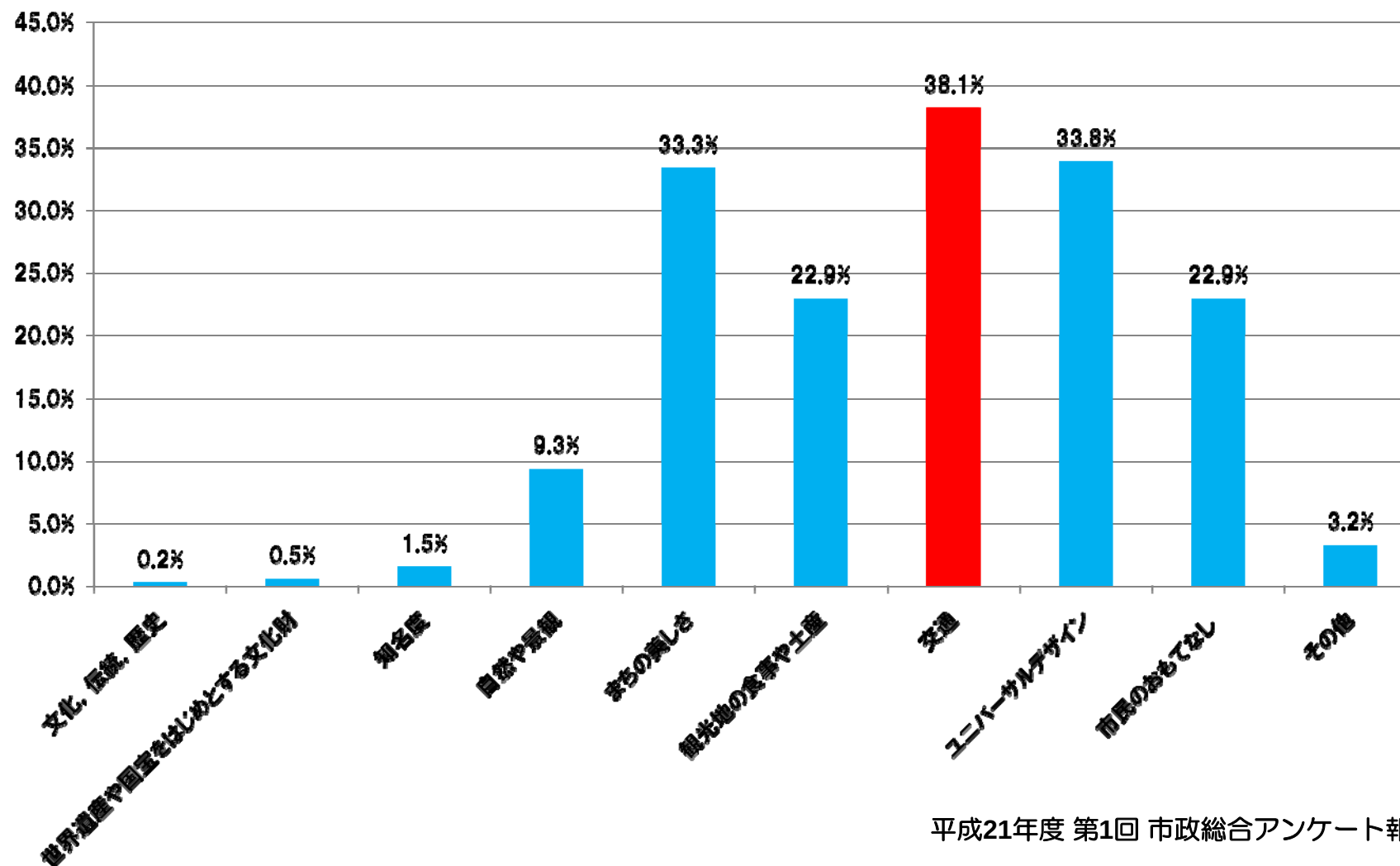


## ◆客観データ

### 京都が解決・克服すべき課題

➤市民は観光都市・京都の課題を「交通」と考えている。

Q：観光都市・京都について恥ずかしく思うことは？



平成21年度 第1回 市政総合アンケート報告書

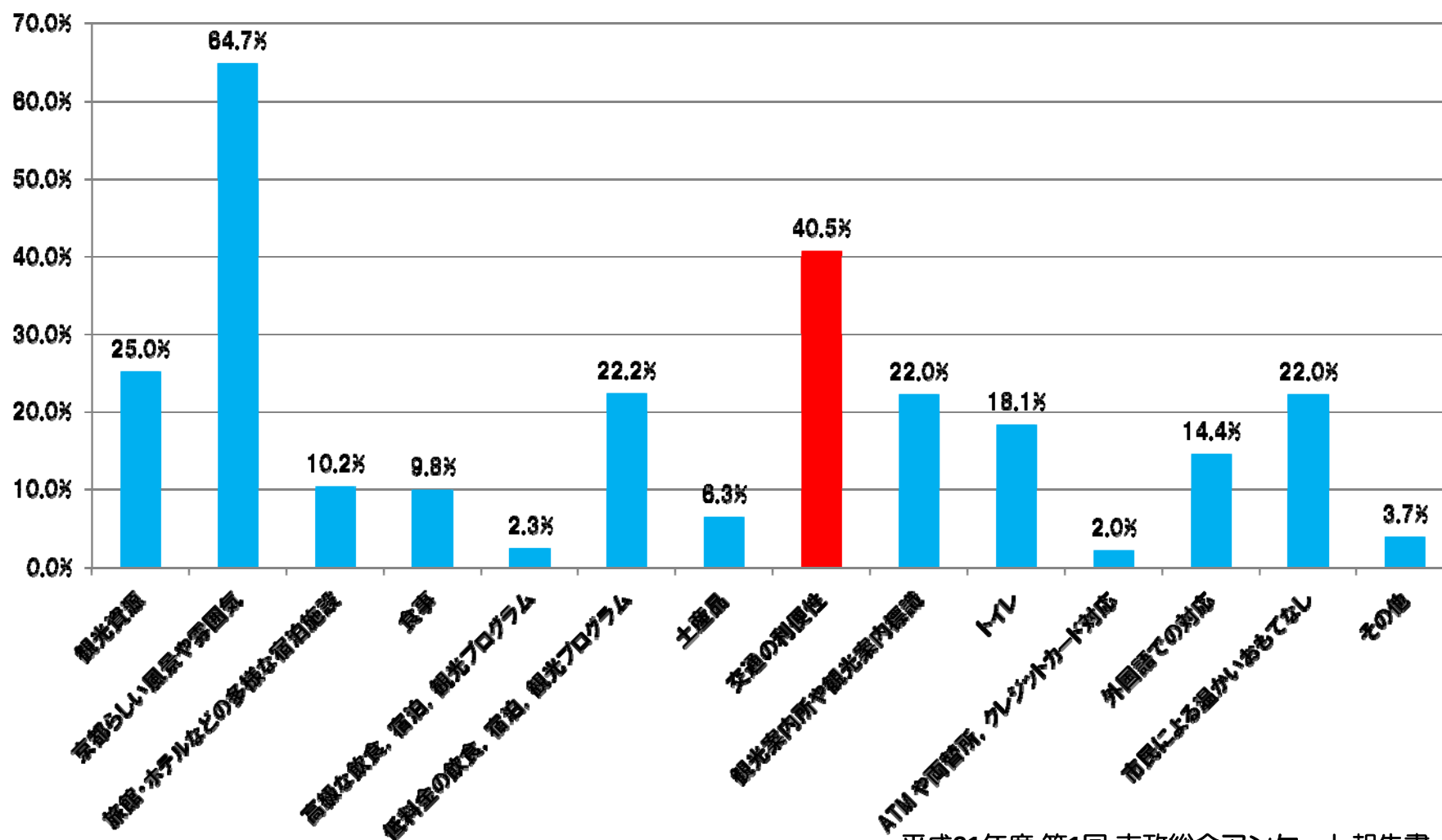


## ◆客観データ

## 京都が解決・克服すべき課題

➤市民は観光都市・京都の課題を「交通」であると考えている。

Q：観光都市としての魅力を高めるため、今後、何に力を入れていくべきか



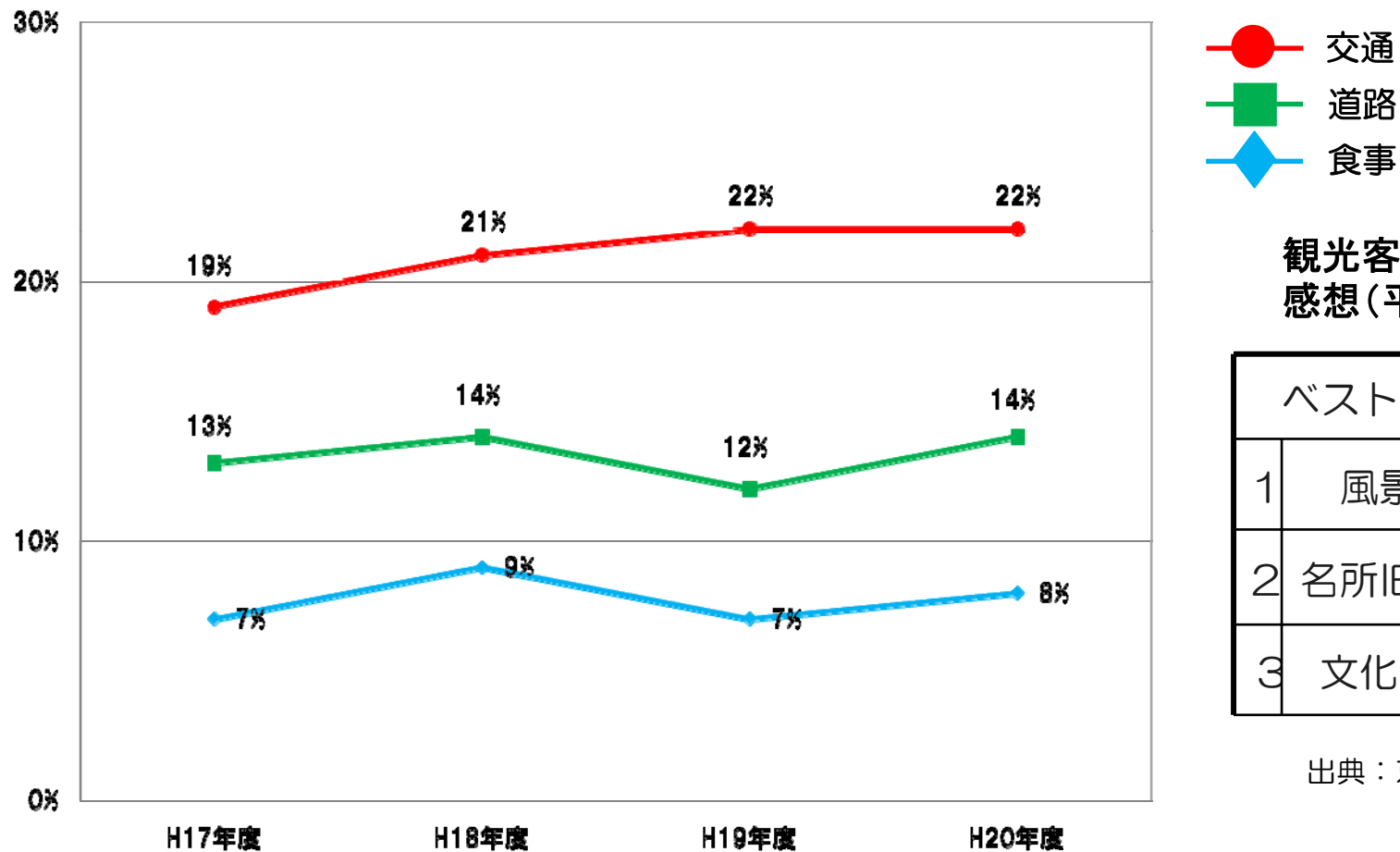


## ◆客観データ

## 京都が解決・克服すべき課題

➤「交通」に関する観光客の評価が低い。

○観光客アンケートの全項目の中で、「わるい」の回答割合が最も高いのは「交通」である。



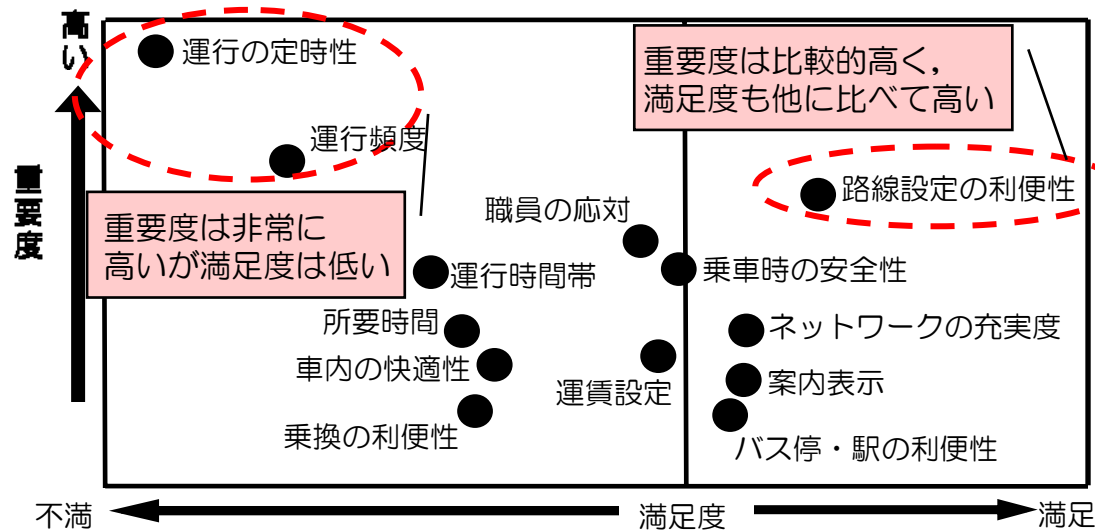
出典：京都市観光調査年報

## ◆客観データ

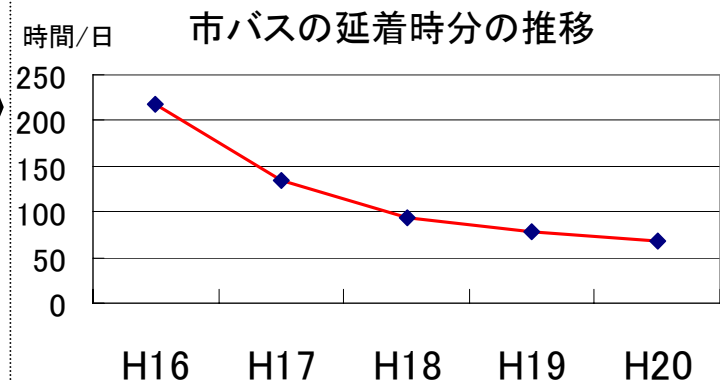
## 京都が解決・克服すべき課題

➤市バス・地下鉄の路線設定に対する満足度は比較的高いものの、市バスの「運行の定時性」について、不満の方が多い。

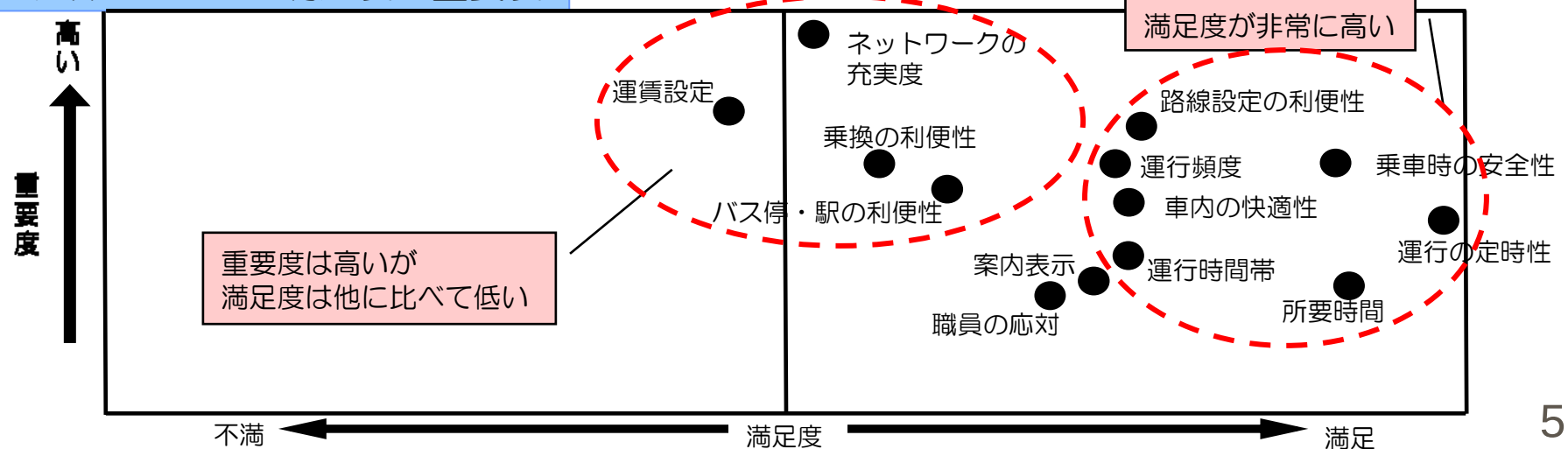
### ●市バスサービスの満足度・重要度 (資料) 平成15年度「市バス・地下鉄 お客様満足度」結果



ただし、近年、市バスの定時性は着実に向上している。



### ●地下鉄サービスの満足度・重要度



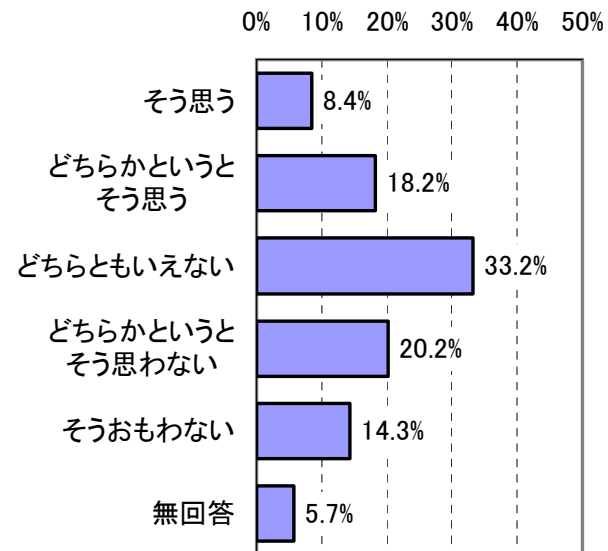


## ◆市民の声

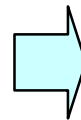
☆「公共交通機関を利用する人が増えている」と思う人が増加

(京都市市民生活実感調査の経年比較)

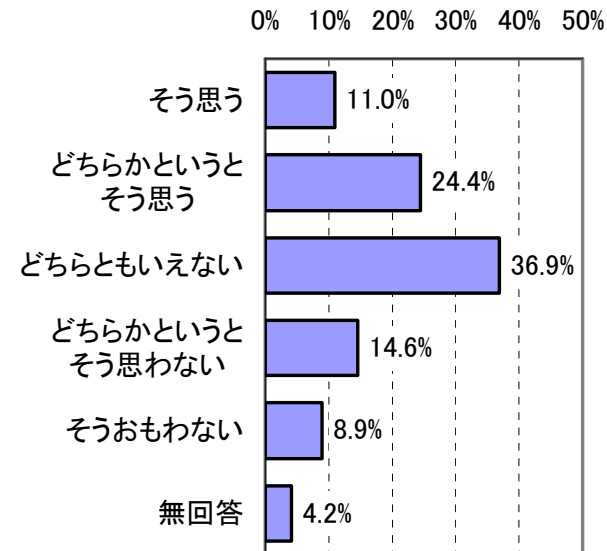
<平成17年度>



} 27%



<平成21年度>



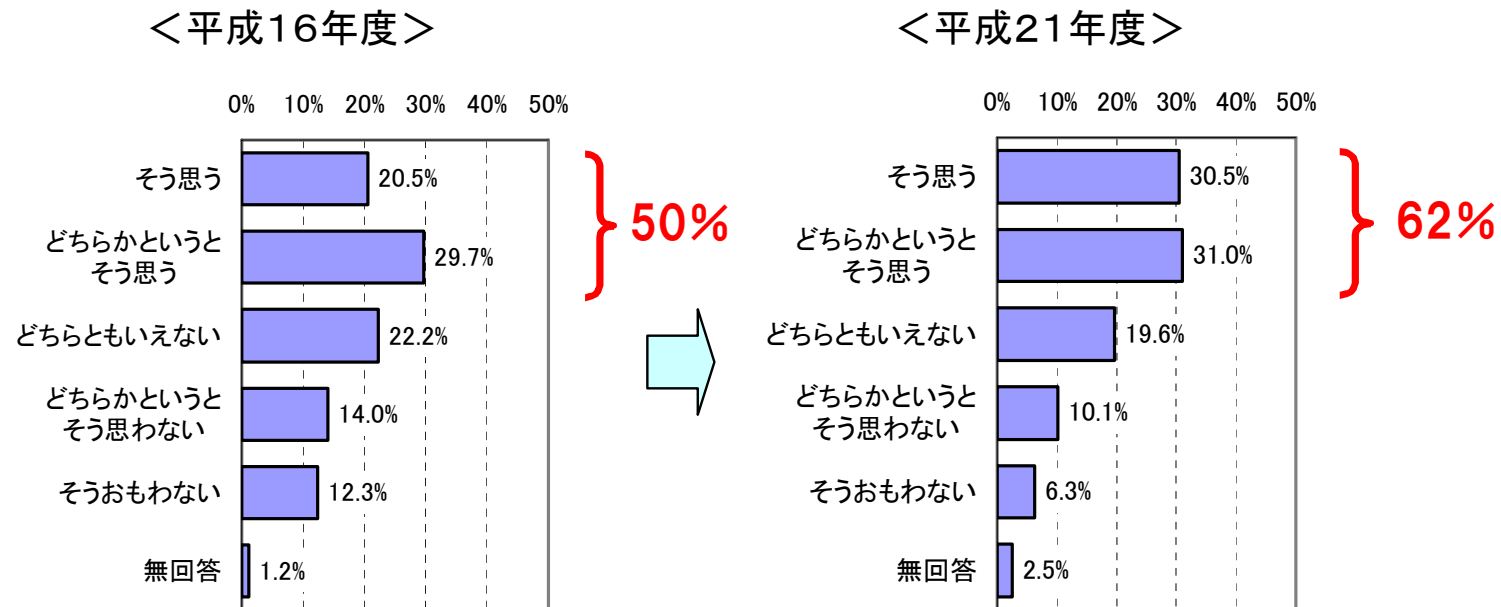
} 35%



## ◆市民の声

☆「まちなかの移動にはバスや鉄道が便利である」と思う人が増加

(京都市市民生活実感調査の経年比較)



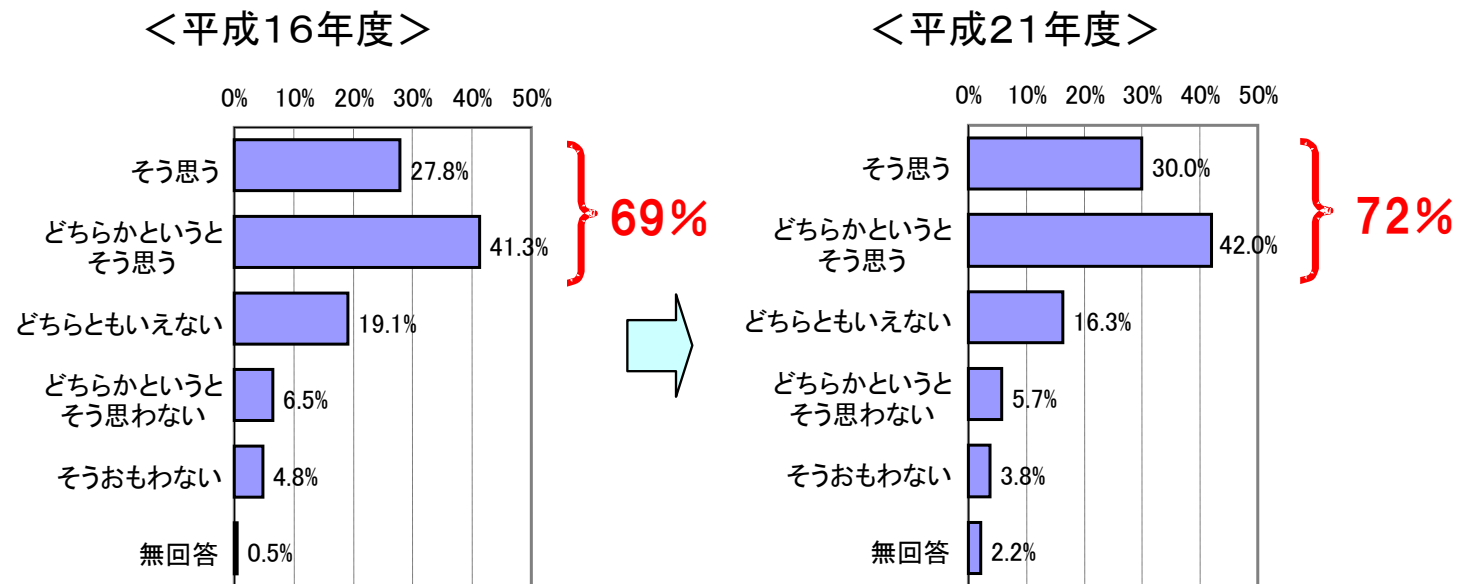




## ◆市民の声

☆「京都は、まちの美しさや賑わいなどにより、歩いて楽しいまちである」と思う人が増加

(京都市市民生活実感調査の経年比較)





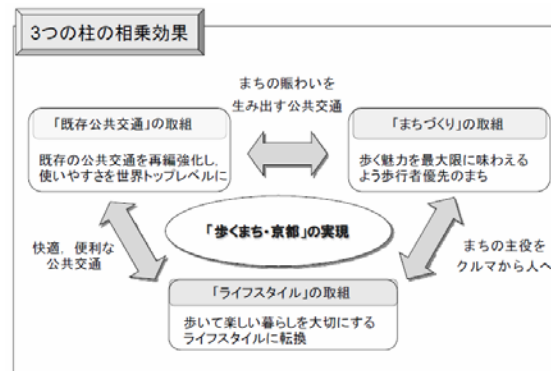
## ◆各区基本計画策定に当たって現時点で出された課題

|             |                                                                                                                                          |             |                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北<br>区      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス交通の利便性について、地域による格差を解消しつつ全体的に高めていく必要がある</li> </ul>                                              | 右<br>京<br>区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・使いやすい公共交通（バス，地下鉄，嵐電など）</li> </ul>                                                                                                                                                                                |
| 上<br>京<br>区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安心して歩けるまちづくりの促進</li> <li>・少ない交通事故発生件数の維持</li> <li>・幼児から高齢者まで，全ての人を対象とした交通安全の取組の推進</li> </ul>  | 西<br>京<br>区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の幹線となる道路整備や立体交差化，橋梁整備などを進め，交通の円滑化を図ることが必要</li> <li>・地下鉄東西線の延伸をはじめとする，鉄道やバスなどの公共交通機関の充実を図ることが必要</li> <li>・安全に歩行者や自転車が通行できる道路整備を進めることが必要</li> <li>・公共交通網，地域の骨格的道路や生活道路のネットワーク化を進め，総合的な交通体系の構築を図ることが必要</li> </ul> |
| 左<br>京<br>区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・山間地域には公共交通がない</li> </ul>                                                                         |             |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 中<br>京<br>区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス・地下鉄の利用促進</li> <li>・タクシーのマナー向上</li> <li>・自転車マナーの向上と駐輪問題の克服</li> <li>・人が主役のまちなか道路の実現</li> </ul> |             |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 東<br>山<br>区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光シーズンの交通渋滞</li> </ul>                                                                           | 伏<br>見<br>区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の充実</li> <li>・東西方向の交通インフラが脆弱</li> </ul>                                                                                                                                                                      |
| 山<br>科<br>区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区の周縁部の人口密度が高いため，バス交通の計画を見直して，地下鉄の駅までつないでほしい。全市と同じようなレベルで山科区のまちづくりを進めてもらいたい</li> </ul>            |             |                                                                                                                                                                                                                                                          |



## 3-2 主な分野別計画の概要

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称         | 「歩くまち・京都」総合交通戦略                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 策定年月       | 2010（平成22）年1月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 計画期間・目標年次  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 趣旨         | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 自動車利用の制限を含めた様々な抑制策等を通じて、クルマを重視したまちと暮らしを、「歩く」ことを中心としたまちと暮らしに転換する。</li><li>○ 京都議定書誕生の地であり、環境モデル都市でもある京都が日本を代表する「国際文化観光都市」であると同時に、まちの賑わいを生み出す都市であり続けることを目指す。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 主要施策と実施状況等 | <p>○ 3つの柱と相乗効果<br/>それぞれの取組が相乗効果を創出するよう、互いに密接に連携させながら推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 柱1 「既存公共交通」の取組<br/>既存の公共交通を再編強化し、使いやすさを世界トップレベルにする</li><li>・ 柱2 「まちづくり」の取組<br/>歩く魅力を最大限に味わえるよう歩行者優先のまちをつくる</li><li>・ 柱3 「ライフスタイル」の取組<br/>歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルに転換する</li></ul> <p>○ 3つの柱に基づく実施プロジェクト<br/>戦略を進めるための象徴的な6つの「シンボルプロジェクト」</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 京都駅南口駅前広場整備</li><li>② パークアンドライドの通年実施</li><li>③ 東大路通の自動車抑制と歩道拡幅</li><li>④ 四条通のトランジットモール化</li><li>⑤ らくなん進都（高度集積地区）における新しいバスシステムの導入</li><li>⑥ 「京都スローライフ・ウィーク」の実施</li></ol> |
| ホームページ     | <a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/soshiki/9-5-0-0-0_21.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/soshiki/9-5-0-0-0_21.html</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |



【イメージ図】



|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称         | 京都市交通バリアフリー全体構想                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 策定年月       | 2002(平成14)年10月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 計画期間・目標年次  | 2010(平成22)年度(ただし、路線バス車両のバリアフリー化については、2010(平成22)年度及び2015(平成27年)度)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 趣旨         | 高齢者や身体に障害がある方など誰もが安全・快適に安心して移動できる交通環境を整備するため、市内のすべての旅客施設や車両、旅客施設周辺の道路などを対象としたバリアフリー化の推進に関する指針や「交通バリアフリー法」に基づく「重点整備地区」を定めた「京都市交通バリアフリー全体構想」を平成14年に策定した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 主要施策と実施状況等 | <p>○「重点整備地区」の選定</p> <p>「交通バリアフリー法」に基づく「重点整備地区」の選定に当たり、旅客施設における段差の程度や情報案内設備の整備状況などを数値化した客観的指標に基づいて市内の全104地区を評価し、より整備優先度が高いと認められる14地区を「重点整備地区」に選定するとともに、これらの地区ごとに「移動円滑化基本構想」の策定期間を定めた。</p> <p>平成20年度までに、全14地区において基本構想の策定を完了し、国が定める平成22年度末の目標年次に向けてバリアフリー化の推進に取り組んでいる。</p> <p>○「バリアフリー化推進に係る基本方針」と「長期整備プログラム」</p> <p>事業者から最大限努力できる改善方策を内容とする、京都市独自のバリアフリー化の目標を定めるとともに、市内の全ての旅客施設、車両、旅客施設周辺の道路などのバリアフリー化を計画的に推進していくための指針として、対象施設ごとの具体的な改善方針などを「長期整備プログラム」として取りまとめた。</p> |
| ホームページ     | <a href="http://www.city.kyoto.jp/tokei/trafficpolicy/barrier/general/index.html">http://www.city.kyoto.jp/tokei/trafficpolicy/barrier/general/index.html</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |



|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称         | 京都市駐車施設に関する基本計画（素案）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 策定年月       | 2010（平成22）年2月（平成22年2月17日～3月9日までパブリックコメントを実施）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 計画期間・目標年次  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 趣旨         | <p>駐車施設施策が安心・安全で快適な歩行空間の確保やまちの賑わい創出に寄与するため、必要な駐車需要に配慮しながら、自動車利用の制限を含めた様々な抑制策等に繋がる新たな駐車施設の抑制と既存の駐車施設の有効活用を図る。</p> <p>さらに、駐車施設に関わる整備、配置、状況把握に至る施策全体をマネジメントすることによって、「歩く」ことを中心としたまちと暮らしへの転換を促す。</p>                                                                                                                                                                                                                                     |
| 主要施策と実施状況等 | <ul style="list-style-type: none"><li>○地域特性に応じた駐車施設整備に関する基準等の策定</li><li>○小規模駐車施設の現状把握及び整序化</li><li>○既存駐車施設から自動二輪駐車施設への転用</li><li>○観光バス対策</li><li>○付置義務制度による配置誘導</li><li>○自動二輪車駐車施設の付置義務制度の適用</li><li>○公共による駐車施設整備の再検討</li><li>○景観に配慮した駐車施設の推進</li><li>○附置義務制度における建築物の用途区分の細分化</li><li>○公共交通利用促進策の計画・実施に対する附置義務の引き下げ</li><li>○パークアンドライド（通年型・観光地対策）</li><li>○駐車場案内システムの高度化</li><li>○共同荷捌きスペースの確保</li><li>○荷捌き駐車施設の付置義務制度の適用</li></ul> |
| ホームページ     | <a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/soshiki/9-5-0-0-0_22.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/soshiki/9-5-0-0-0_22.html</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                               |



|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称         | 京都市駐車場整備地区における駐車場整備計画（素案）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 策定年月       | 2010（平成22）年2月（平成22年2月17日～3月9日までパブリックコメントを実施）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 計画期間・目標年次  | 2020（平成32）年                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 趣旨         | <p>「歩くまち・京都」総合交通戦略及び駐車施設基本計画の基本方針のもと、歴史的都心地区をはじめとする駐車場整備地区を、人と公共交通を優先する地区として、駐車場の適正な配置など、「歩いて楽しいまち」にふさわしい駐車場の整備、配置を検討する必要がある。</p> <p>本計画は、駐車施設基本計画の基本方針に従い、駐車場の適切な配置誘導を進めていくとともに、駐車需要の抑制を図ったうえで、なお必要となる駐車場については、既存駐車場の有効活用等によって、必要な量の駐車場を必要な場所に確保するマネジメントを推進していくことを目的とする。</p>                                                                                                                                                                                                                                     |
| 主要施策と実施状況等 | <ul style="list-style-type: none"><li>○自動車利用の抑制を図る駐車場施策<ul style="list-style-type: none"><li>・付置義務制度による駐車施設の整備</li><li>・公共交通利用促進策の計画・実施に対する付置義務の引き下げ</li><li>・地域特性に応じた駐車施設整備に関する基準等の策定</li></ul></li><li>○既存の駐車場を有効に活用する施策<ul style="list-style-type: none"><li>・既存駐車場から自動二輪車駐車場への転用</li><li>・共同荷捌きスペースの確保</li><li>・駐車場案内システムの高度化</li></ul></li><li>○自動車利用（駐車需要）の抑制や既存の駐車場の有効活用を図ったうえで必要となる自動二輪者等の駐車場を確保する施策<ul style="list-style-type: none"><li>・自動二輪車駐車施設の付置義務制度の適用</li><li>・付置義務制度による配置誘導</li></ul></li></ul> |
| ホームページ     | <a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/soshiki/9-5-0-0-0_22.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/soshiki/9-5-0-0-0_22.html</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |



|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称         | 京都市高速鉄道事業経営健全化計画<br>京都市自動車運送事業経営健全化計画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 策定年月（予定）   | 2010（平成22）年3月（現在，市議会において審議中）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 計画期間・目標年次  | 地下鉄事業：2009（平成21）年度～2018（平成30）年度<br>市バス事業：2009（平成21）年度～2015（平成27）年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 趣旨         | 地下鉄・市バス事業とも，平成20年度決算において「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」に基づく「経営健全化基準」（資金不足比率20%）を上回り，同法に定める「経営健全化団体」となったことから，資金不足比率を経営健全化基準未満に引き下げ，さらに累積資金不足の早期解消を図るため，同法に基づく経営健全化計画を策定するもの。<br>市会の議決を得て，計画を策定する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 主要施策と実施状況等 | <p>【高速鉄道事業】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○収入増加策<br/>お客様増加策の実施（沿線への集客施設の誘致や公共施設の整備，「歩くまち・京都」総合交通戦略等と連携したマイカーからの転換など），駅ナカビジネスの拡大，所有資産の有効活用，運賃改定</li><li>○コスト削減策<br/>駅職員業務の民間委託化の拡大などによる総人件費の削減，地下鉄設備の更新期間の延長<br/>経費の削減，高金利建設企業債の借換えによる利息負担の軽減，外郭団体の整理統合</li><li>○一般会計支援等の拡充<br/>経営健全化出資の拡充，地下鉄施設の実耐用年数を考慮した企業債償還期間の延長，三セク区間の直営化に伴う一般会計からの新たな出資，市バス事業の健全化により削減した補助金を活用した支援</li></ul> <p>【自動車運送事業】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○収入増加策<br/>お客様増加策の実施（増客に向けた系統・ダイヤの編成，バス待ち環境の向上，定時性の向上，「歩くまち・京都」総合交通戦略等と連携したマイカーからの転換など），所有資産の有効活用</li><li>○コスト削減策<br/>営業所の再編成や自動車整備業務の民間委託化等による総人件費の削減，バス車両の耐用年数の大幅な見直し<br/>経費の削減，定期観光バス事業からの撤退</li><li>○一般会計補助金の縮減<br/>生活支援路線補助金の縮減，市バス購入費に対する補助金の縮減</li></ul> |
| ホームページ     | <a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/page/0000075121.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/kotsu/page/0000075121.html</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |





|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称         | 都心部放置自転車等対策アクションプログラム                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 策定年月       | 2006（平成18）年10月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 計画期間・目標年次  | 2006（平成18）年度～2010（平成22）年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 趣旨         | <p>京都の魅力と活力が凝縮されている都心部には、大量の自転車や原動付自転車等が放置され、安全で快適な通行を阻害するとともに、良好な景観を損ねまちの魅力を低下させている。</p> <p>そのため、抜本的な放置自転車対策を実施し、安全かつ快適な歩行・走行空間を確保するとともに、良好な景観を保全することにより、歩いて楽しいまちづくりを推進する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 主要施策と実施状況等 | <p>1 アクション1 2,500台分の公共自転車等駐車場の整備<br/>2,500台分の公共自転車等駐車場の整備に向け、平成18年10月以降、富小路六角自転車駐車場の整備を行うとともに、次のとおり、整備を予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・富小路六角自転車駐車場（530台）</li><li>・御池通路上自転車駐車場（500台予定）</li><li>・御射山自転車等駐車場（1,008台）</li><li>・新京極公園（200台）</li></ul> <p>2 アクション2 自転車駐車場付置義務の見直し<br/>本年3月に、対象施設の拡大や対象施設面積の引下げを主な内容とした条例改正を行った。その後、各種関係団体等への周知を行い、10月1日から改正条例を施行している。</p> <p>3 アクション3 民間自転車等駐車場整備助成金制度の創設<br/>本年3月に、「京都市民間自転車等駐車場整備助成金制度」を創設し、6月に平成21年度第1回目の募集を行った。現在、平成21年度第2回目の募集を行っているところである。</p> <p>4 アクション4 地域との協働による啓発・監視活動<br/>平成19年8月に、「都心部放置自転車追放協議会」を設置し、市民、事業者及び行政のパートナーシップにより、定期的に地域主体の啓発及び監視活動を実施している。</p> <p>5 アクション5 放置自転車撤去の強化<br/>平成19年9月に、都心部全域を「自転車等撤去強化区域」に指定し、平日の撤去回数を増やすとともに、夜間・休日の撤去を行うなど、強化を図った。併せて、約1,500台収容可能な保管所を整備した。</p> |
| ホームページ     | <a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000061485.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000061485.html</a>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |



|            |                                                                                                                                                                                                                              |                               |                                                            |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 名称         | 京都市自転車総合計画                                                                                                                                                                                                                   |                               |                                                            |
| 策定年月       | 2000（平成12）年3月                                                                                                                                                                                                                |                               |                                                            |
| 計画期間・目標年次  | 2000（平成12）年度～2009（平成21）年度                                                                                                                                                                                                    |                               |                                                            |
| 趣旨         | <p>本計画は、環境にやさしく日常生活において重要な役割を果たしている自転車の安全かつ快適な利用環境の確保と利用の促進を図るために、総合交通体系において自転車が重要な役割を担うことを明確にし、自転車の駐場所や走行空間の確保に取り組むと同時に、自転車の適正な利用を推進するため、利用マナー・ルールの啓発や放置自転車の撤去など従来施策の一層の強化を図ることで、すべての人にとって安全・快適ですみよいまちづくりを実現することを目的とする。</p> |                               |                                                            |
| 主要施策と実施状況等 | 主要施策                                                                                                                                                                                                                         |                               | 実施状況                                                       |
|            | 1 総合計画の推進体制の確立                                                                                                                                                                                                               | 地域の協議会の設置                     | ○4地域に設置                                                    |
|            | 2 自転車利用環境の整備                                                                                                                                                                                                                 | (1) 自転車等駐場所整備                 | ○整備を予定している対象駅（7駅中6駅整備、他1駅は仮設）<br>○整備を検討していく対象駅（40駅中26駅整備）  |
|            |                                                                                                                                                                                                                              | (2) 集客施設などに対する自転車等駐場所の付置義務の強化 | ○平成12年対象施設の拡大（1業種→3業種）<br>○平成21年対象施設の拡大（3業種→13業種）と設置基準の引下げ |
|            |                                                                                                                                                                                                                              | (3) 自転車走行空間の整備                |                                                            |
|            |                                                                                                                                                                                                                              | (4) 都市型レンタサイクルの導入             | ○4駅で導入                                                     |



|            |                                                                                                                                 |                       |                 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------|
| 主要施策と実施状況等 | 主要施策                                                                                                                            |                       | 実施状況            |
|            | 3 自転車利用マナー・ルールの確立                                                                                                               | 撤去体制の強化               | ○保管所増設<br>○体制強化 |
|            |                                                                                                                                 | 原付撤去の実施<br>保管・処分制度の整備 | ○平成12年度から実施     |
|            |                                                                                                                                 |                       |                 |
| ホームページ     | <a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000004283.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000004283.html</a> |                       |                 |



## 3-3 融合委員会ワークショップ結果

| 未来像                            | 重点戦略                                                                                                                     |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○歩いて楽しいまち                      | ・バス・地下鉄でどこへでも誰でも行ける                                                                                                      |
| ○地下鉄に乗ろう<br>環境-経営-健康-観光        | ・自転車も乗れる地下鉄<br>・モデル（赤字対策）                                                                                                |
|                                | ・交流する場素づくり<br>・それを結ぶ動線の充実 例）交通手段，道<br>・観光の一番の負のイメージである交通渋滞の解消<br>・インフラの徹底的な活用<br>・交通インフラの徹底的な活用<br>・もし，交通インフラがなかったらどうなる？ |
| ○地球にやさしい公共交通優先の<br>歩いて楽しいまちづくり | ・地下鉄を中心とした交通<br>・ネットワークの確立<br>・駅周辺の活性化                                                                                   |